

HITACHI

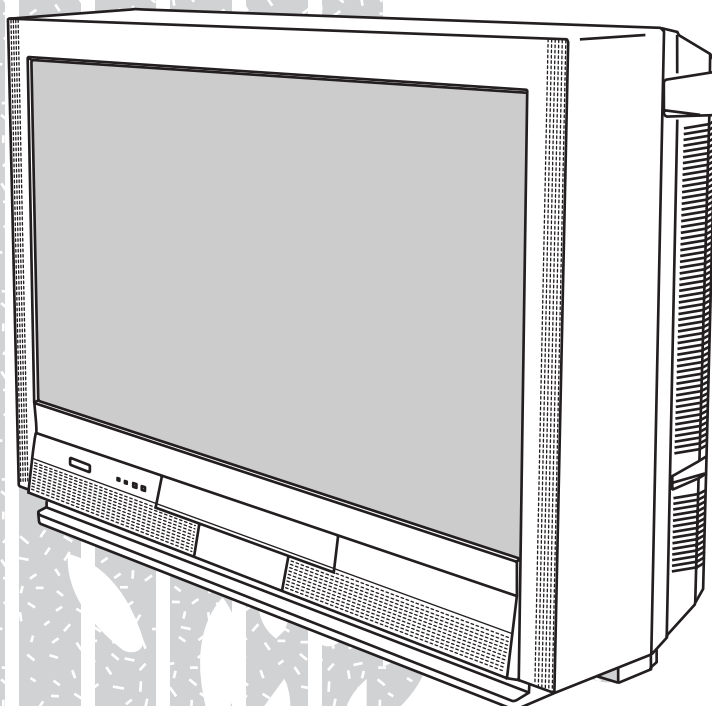
日立BSデジタルハイビジョンテレビ

形名

W32-DH2100

W36-DH2100

取扱説明書



W32-DH2100、W36-DH2100は外観は異なりますが、
取り扱いは同じです。詳しくは本仕様をご覧ください。
本文中のイラストは主として、W32-DH2100で説明しています。

このたびは日立BSデジタルハイビジョンテレビをお求めいただき、まことにありがとうございました。

最初に

「使用上のご注意」をお読みください。本体の取扱いは、この「取扱説明書」をよくお読みになり、
ご理解のうえ正しくご使用ください。

お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

FOCUSと(●)記号はSRS Labs, Inc.の商標です。

FOCUS技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

特長

BSデジタル放送の鮮やかな高画質映像と
多機能サービスが楽しめる
**BSデジタルハイビジョン
チューナー内蔵**

テレビ放送のゴースト妨害を低減
**デジタルGR
(ゴーストリダクション) 回路**

より自然で迫力のあるリアルな音が楽しめる新技術
FOCUS™ 採用 ※
by SRS(●)
※ FOCUS™ はSRS Labs, Inc.の商標です。

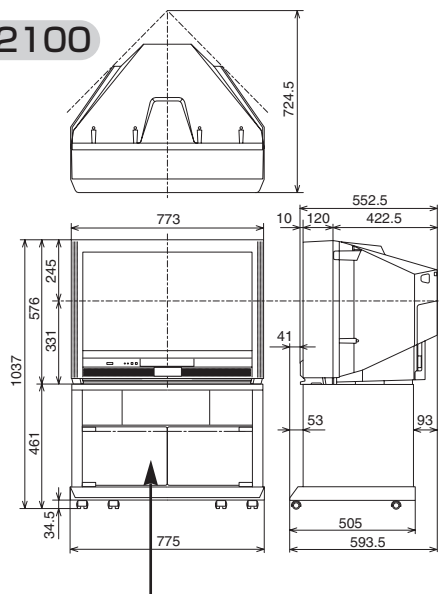
BSデジタル放送(1125i) 高精細表示及び
現行放送をハイビジョンと同じ走査線数で表示
緻密でチラツキの少ない高画質を実現した
アドバンスドプログレッシブ

D端子対応機器に簡単接続できる
D3端子2系統を装備

自然な画像を高精細に再現
**フラットハイビジョン
ブラウン管**

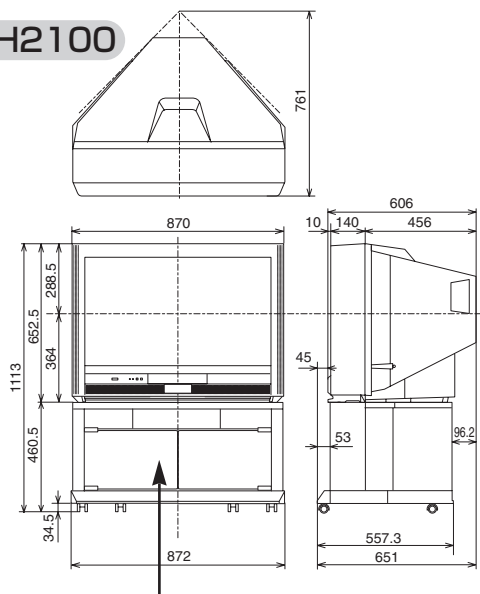
コンパクトデザインコーナー設置

W32-DH2100



別売りスタンド **TB-32DR**
(セミオープンスタンド)
との組み合わせ


W36-DH2100



別売りスタンド **TB-36DR**
(セミオープンスタンド)
との組み合わせ

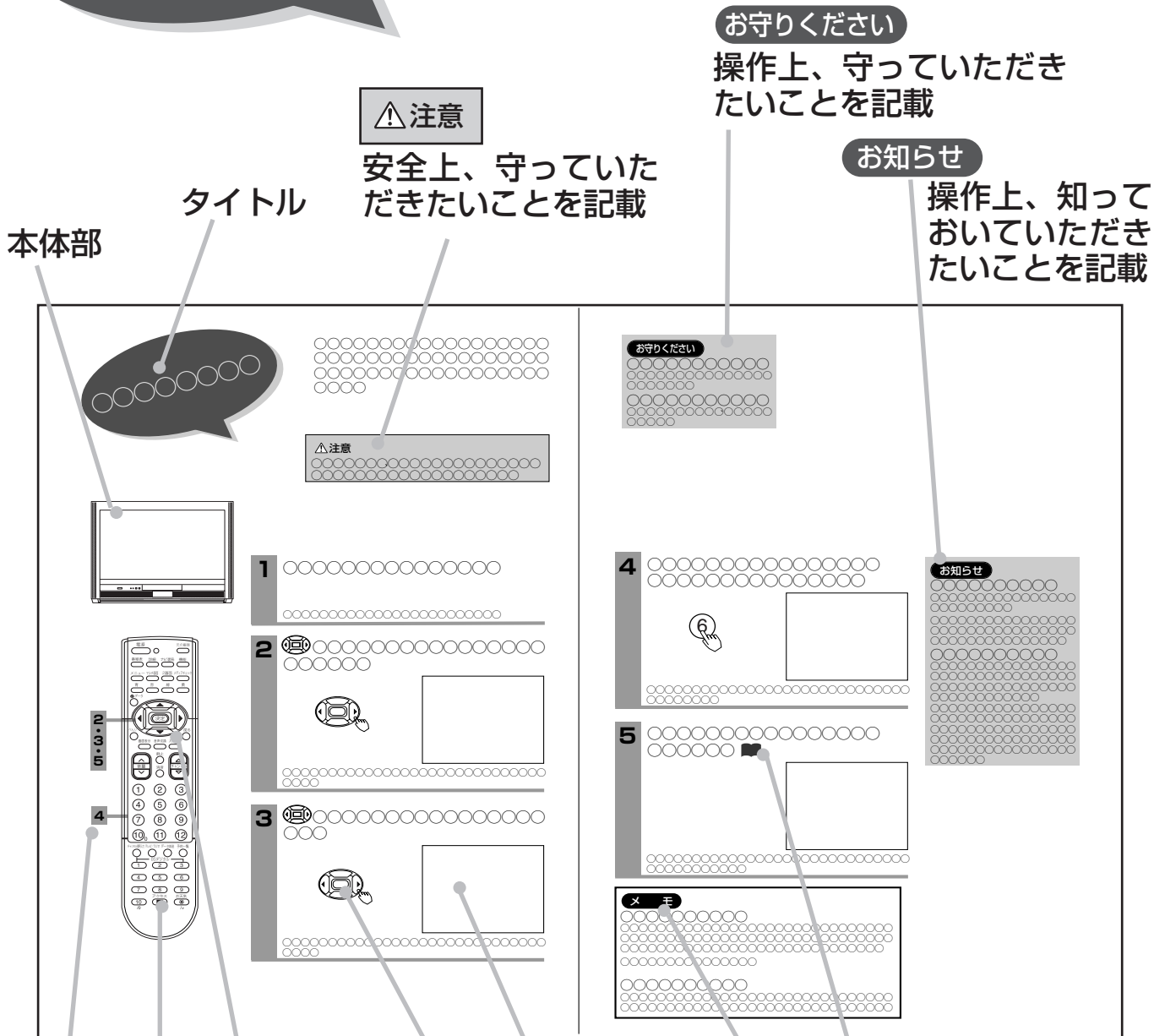
単位：mm

商標について

- i.LINKとi.LINKロゴ  は、ソニー株式会社の商標です。
- D-VHSは、日本ビクター株式会社の登録商標です。

本書の見かた

この説明書は、ほとんどが1ページまたは2ページの見開きで見えるようになっています。
 (※違うパターンもありますが、基本的には同じ説明方法です。)



△注意

安全上、守っていただきたいことを記載

お守りください

操作上、守っていただきたいことを記載

お知らせ

操作上、知っておいていただきたいことを記載

本体部

タイトル

1

2

3

4

5

リモコン

カーソルボタン

手順の説明

メモ 参照ページの記号

イラストからの引出番号は操作する順番です

カーソルボタンの記号

- 上下左右いずれかの操作
- 上下方向の操作
- 左右方向の操作

メモ

知っていると
 便利な操作・解説

この説明書は、2モデルの説明書となっています。本文中、それぞれの機種特有の取り扱いについてはW32-DH2100、W36-DH2100と書いてあります。



はじめに

特長	2
本書の見かた	3
使用上のご注意	6
安全上のご注意	6
お守りください	10
お知らせ	10
留意点	11
BSデジタル放送について	12
お使いになる前の準備	13
各部のなまえ	14
リモコン	14
テレビ本体前面	15
テレビ本体後面	16
リモコンの取り扱い	17

基本の使いかた

テレビ放送 (VHF/UHF) を楽しみたいとき	18
BSデジタル放送を楽しみたいとき	20
お買い上げ時のプリセット設定について	20
べんり機能の使いかた	22
べんり機能の項目の選びかた	22
べんり機能で設定できる項目について	22
メニュー機能の使いかた	23
ワイド機能を楽しみたいとき	24
ワイドモードの選びかた	24
オートワイドの効果	25
その他のワイドモードについて	26
画面位置を調節したいとき	27
ゴースト妨害を低減したいとき	28
(ゴーストリダクション)	
ゴースト妨害とは	28
ゴーストを低減したいとき	29
音を一時的に消したいとき	30
チャンネル番号などを知りたいとき	31
画面表示	31
ビデオを見たいとき	32
低電力モードに設定するとき	33
音声内容の選びかた	34
二重音声放送のとき	34
ステレオ放送のとき	34
BSデジタル放送の音声信号を切り換えるとき	34
本体で操作したいとき	35

映像・音声の設定

映像の自動調整モードを選びたいとき	36
映像モードの選びかた	36
映像設定をしたいとき	37
明るさ、黒レベルなどの設定	37
さらにお好みの映像設定をしたいとき	38
(ビデオ入力画質、3次元Y/C、ライン補間、 フィルムシアター、黒補正、VM、LTI、CTI)	
音声設定をしたいとき	39
(音声モード、高音、低音、バランス、FOCUS、 サラウンド)	
さらにお好みの音声設定をしたいとき	40
(ステレオミュート、ミュート音量、ヘッドホン音量)	

多機能の使いかた

マルチ画面を楽しみたいとき	42
マルチ画面モードについて	42
2画面を楽しみたいとき	42
4画面を楽しみたいとき	44
メディアチェックで選びたいとき	46
静止画にしたいとき	47
自動的に電源を切りたいとき	48
他の設定を変えたいとき	49
(オートワイド設定、傾き調節、消磁)	
外部機器を接続するときに便利な設定	50
モニター出力、入力検出、ゲームモードの設定	50
ビデオ入力表示書換の設定	52
コンポーネントの設定	53
入力スキップの設定	54
ビデオなどに録画するとき (BSch固定の設定)	55

BSデジタル放送の楽しみかた

BSデジタル放送をご覧になるには	56
画面表示および表示窓の意味について	56
機能メニュー画面について	57
BSデジタル番組の楽しみかた	58
表示機能について	60
番組表を表示する	60
何日か先の内容を見る	62
その他の便利な機能	62
見ている番組のタイトルなどを表示する	63
番組の詳細内容を表示する	64
選局機能について	65
ナビ選局から番組を選ぶ	65
お好みのジャンルの番組を選ぶ	66
キーワードの含まれる番組を選ぶ	68
サービスを切り換える	71
有料番組について	72
有料番組 (ペイ・パー・ビュー) を購入する	72
有料番組 (ペイ・パー・ビュー) の利用状況を確認する	73
視聴履歴を送信する	74
予約する	75
番組を予約する	75

予約の確認、取り直しをする 78
 マニュアル予約する 79
視聴条件の設定 82
 視聴制限を設定する 82
 視聴制限を変更する 84
 視聴制限を一時的に解除したいとき 86
放送コンテンツについて 87
 字幕や文字スーパーを見たいとき 87
 BSデータ放送を見たいとき 88
 複数の映像、音声からお好みのものを選ぶ 89
インフォメーションの確認 90
 メールを見る 90
 カード情報を見る 91
接続機器の操作 92
 i.LINKについて 92
 D-VHSビデオデッキを操作する 93
 D-VHSビデオを登録する 95

受信設定を変更する 133
 カードテストを行う 134
 ダウンロードについて 135
 ダウンロード選択について 135
 ダウンロードを自動で選択する 135
 ダウンロードを手動で選択する 136
 外部機器接続時の設定 137
 ビデオコントローラーを設定する 137
 マニュアルで設定する 140
 i.LINK待機の設定 142
 デジタル音声出力の設定 143
他の外部機器と接続したいとき 144
 接続できる機器 144
 ビデオカメラとの接続 145
 画面を見ながらテープ編集をするときの接続 146
 DVDプレーヤーとの接続 147
 ゲーム機との接続 148
 将来実用化予定のデジタル機器との接続 149
 サブウーハーとの接続 150
 CATVホームターミナルとの接続 151
据え付けについて 152
 転倒防止について 152
 据え付けるときのご注意 152

設 置

接続 96
 VHF/UHFアンテナ線の接続 96
 VHF/UHFアンテナが混合のとき 96
 VHF/UHFどちらか一方のとき 96
 VHF/UHFアンテナが独立のとき 96
 BSが混合のとき 96
 アンテナアダプターと同軸ケーブルの接続 97
 F形接栓(別売り)の接続 97
 UHFフィーダーの接続 97
 フェライトコアの使いかた 97
 きれいな映像を楽しむために 97
 アッテネーターについて 98
 BSアンテナ線を接続するには 99
 B-CASカードの挿入 100
 電話回線の接続 101
 ビデオコントローラーを接続する 102
 ビデオを接続する 103
 i.LINK対応のD-VHSビデオデッキとの接続 104
 日立のAV-BUS端子付ビデオとの接続 105
 デジタル音声入力端子付きオーディオ機器との接続 106
テレビ放送の受信設定について 107
 チャンネルの合わせかた (地域番号) 107
 地域番号一覧表 109
 チャンネルの合わせかた (マニュアル) 115
 10キー方式にかえる場合 118
 微調する場合 119
 ゴースト妨害を低減したいとき
 (ゴーストリダクション) 120
 空きチャンネルを飛び越し選局したいとき 122
 受信モードの設定について 123
BSデジタル放送の受信設定について 124
 設定画面の出しかた 124
 電話設定 125
 地域設定 127
 BSチャンネルの設定 129
 ワンタッチ選局を設定する 129
 チャンネルスキップを設定する 130
 BSアンテナの設定 131
 その他の設定 132
 表示窓ライトを設定する 132

ご 参 考

故障かな?と思ったら 153
 メッセージ表示一覧 156
 アイコン一覧 157
 メニュー階層 158
 セット取り扱い上の注意事項 160
 お手入れについて 160
 保証とアフターサービス(必ずご覧ください。) 161
 お客様ご相談窓口 162
 用語解説 163
 索引 164
 仕 様 裏表紙

使用上のご注意

ご使用のまえにこの「使用上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

絵表示について 製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害を発生する可能性があります。

絵表示の意味



気をつけなければならない。「注意」を示します。



感電に気をつけなければならない。「感電注意」を示します。



してはいけない。「禁止」を示します。



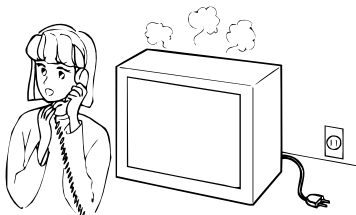
必ず行う。「強制」を示します。

安全上のご注意



警告

■異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く



電源プラグを
コンセントから
抜くこと

異常、故障状態とは

- 煙が出ている、へんな臭いや音がする
- 画が乱れる・映らない、音がでない
- 本機の内部に異物(水、金属など)が入った
など、異常、故障状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。

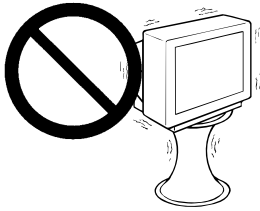
すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

●イラストはイメージであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

設置をするとき

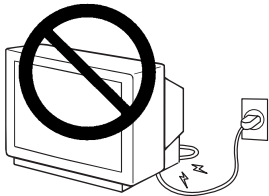
警告

■ 不安定な場所に置かない



ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

■ 電源コードを本機の下敷にしない



コードに傷がついて火災・感電の原因となります。

■ 持ち運ぶときは衝撃を与えない、本機を落とさない

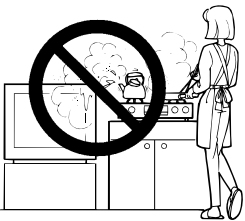


破損したまま使用すると、火災・感電・けがの原因となります。

●ブラウン管はガラスでできていますので、万一割れたりするとケガの原因となります。

注意

■ 湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たる場所に置かない



火災・感電の原因となることがあります。

●調理台や加湿器のそばなど

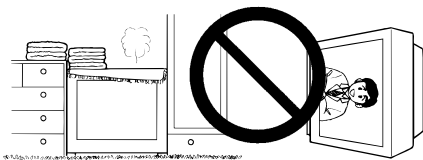
■ 通風孔をふさがない

火災の原因となることがあります。

通風孔を壁から10cm以上離して据えつけてください。

特につぎのような使い方はしない。

- 本機をあお向けや横倒し、逆さまにする。
- 風通しの悪い狭い所に置く。
- じゅうたんや布団の上に置く。
- テーブルクロスなどを掛ける。
- ラック、箱のような狭いところに入れる。



■ 電源プラグをすぐに抜くことができるように本機を据え付ける



本機が異常や故障となったとき、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと火災・感電の原因となることがあります。

■ 電源プラグ、アンテナ線などの外部の接続線や転倒防止の処置をしたまま移動させない



火災・感電・けがの原因となることがあります。

■ キャスター（車）止めをする



テレビ台にキャスター（車）がついている場合は、キャスター止めをする。

テレビが動いたり、倒れたりするとけがの原因となることがあります。

■ 転倒防止の処置を行う



テレビが倒れると、けがの原因となることがあります。

■ アンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください



●送配電線から離れた場所に設置する。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

●特にBS、CS放送受信用アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取り付ける。

警告

■ **本機の上に花びんなどを置かない**



水ぬれ禁止

本機の内部に水などが入ると火災・感電の原因となります。

万一、入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

- 花びん、水槽、植木鉢、コップ、化粧品、薬品などを置かない。

■ **本機に水をこぼしたり、ぬらしたりしない**



水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。

- 雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

■ **風呂場やシャワー室で使用しない**



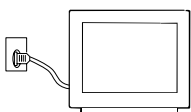
風呂場やシャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

■ **指定の電源電圧で使用する**



本体に表示された電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。



■ **雷が鳴り出したら、アンテナ線や本機には触れない**



接触禁止

感電の原因となります。

■ **異物を入れない**



通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりすると、火災・感電の原因となります。

万一、入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。特にお子様にはご注意ください。

■ **裏ぶたやカバーをはずさない、本機を改造しない**



分解禁止

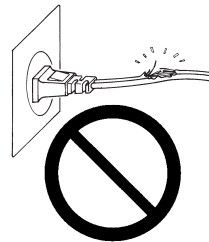
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

■ **電源プラグの刃や周辺に付着したほこりや金属類を取り除く**



そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お手入れは、電源プラグを抜いてから乾いた布で行ってください。

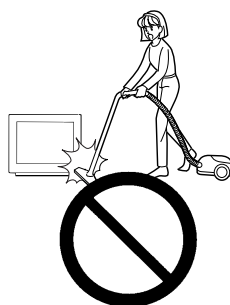
■ **電源コードを傷つけない**



火災・感電の原因となります。傷ついたら、電源プラグを抜いて販売店に交換をご依頼ください。

- 傷つける、破損させる、加工する、無理に曲げる、重いものをのせる、加熱する、引っ張るなどをしない。

■ **衝撃を与えない**



万一、本機を落したり、キャビネットを破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

使用するとき(つづき)

⚠ 注意

■ 電源プラグは根元まで確実に

差し込む

差し込みが不完全ですと発熱し火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



■ 電源プラグは、ゆるみのあるコンセントに差し込まない

発熱して火災の原因となることがあります。

ゆるみのある場合は、販売店に交換をご依頼ください。



■ ぬれた手で電源プラグを

抜き差ししない

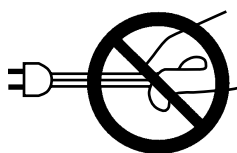
感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

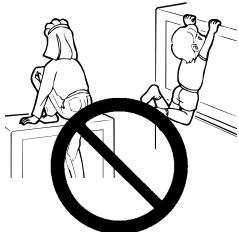
■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

電源コードを引っ張ると電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。



■ 本機に乗ったり、ぶら下がったりしない

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



■ 本機の上に重いものを置かない

倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

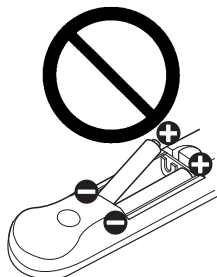


■ 間違った電池の使い方をしない

電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

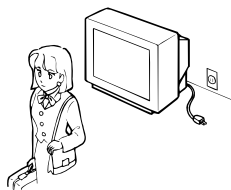
特に、次の使い方はしない。

- 本機で指定されていない電池の使用
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用
- 本機の極性表示（プラスとマイナスの向き）とは逆向きに電池を使用



■ 長期間ご使用にならないときは必ず電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜くこと



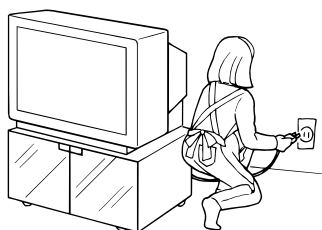
お手入れするとき

⚠ 注意

■ お手入れの際は、安全のため電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜くこと



■ 年に一度は内部の掃除を販売店にご相談ください

本機の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部の掃除費用については販売店にご相談ください。



お守りください

■ 高温になるところに 置かないでください

キャビネットや部品に悪い影響を与えますので
ご注意ください。

- 直射日光や熱器具の近くなど。

■ お部屋は適度の明るさで

暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。

■ 長時間連続して画面を見ていると 目が疲れやす

時々、画面から離れて目を休めてください。

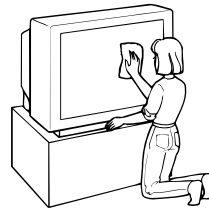
■ 適度な音量で

特に夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを利用したりして、隣り近所に対し十分な配慮をして、生活環境を守りましょう。

■ 磁気を近づけないでください

磁気の影響を受けて色が乱れたりすることがあります。(磁石、ステレオのスピーカーなど)

■ ブラウン管のお手入れについて



ブラウン管の表面はほこりが付きやすいので、時々柔らかい布でふいてください。

また、表面は傷つきやすいので硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

■ キャビネットのお手入れについて

- キャビネットの表面をベンジン、シンナーなどでふいたり、殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには、水で薄めた中性洗剤に布をひたしよく絞ってからふき取り、乾いた布で仕上げてください。

特に、次の洗剤などは塗装を傷めますので使用しないでください。

- ・ アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹼、カーワックス類など

お知らせ

■ ブラウン管の静電気

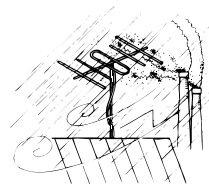


ブラウン管表面に手を触れると弱い電気を感じる場合があります。これは人体に影響はありません。

■ ご覧になる位置は

画面のたての長さの5~7倍を目安にした場所でご覧になれば、見やすく疲れにくくなります。

■ アンテナの点検・交換について



アンテナは風雨にさらされるため、美しい画像でお楽しみ頂くためにも点検・交換することをおすすめします。

特に、煤煙の多い所、潮風にさらされる所では、アンテナが早く傷みますので、映りが悪くなった場合は、販売店にご相談ください。

お知らせ (つづき)

●電話回線の接続が必要です

BSデジタル放送では、電話回線を使って視聴記録データの送信や視聴者参加番組への参加などができるシステムを採用しています。本機にはNTTの2線式公衆電話回線で、プッシュ式またはダイヤル式（10 PPS/20 PPS）の電話機に接続の電話線を分配して接続してください。また、接続した電話回線は異常が発生しない限り、取り外さないでください。不特定多数の人が利用する公衆電話や共同電話、および2線式電話回線と接続しない電話機（携帯電話、PHSなど）では利用できない場合があります。

●本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください

本機の受信周波数帯域（90MHz～1336MHz）に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。

また、アンテナの接続時にアンテナケーブルや分配器、分波器などの機器を使用する場合は、共聴用のものをご使用ください。

●本機の主電源ボタンは常時「入」にしておいてください

長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は、テレビ本体の主電源ボタンを「切」のままにしたり、電源プラグをコンセントから抜いたままにしたりしないでください。本機は電源オフ（スタンバイ）状態でも、自動的にBSデジタル放送の情報を受信したり、視聴記録の送信を行ったりします。

●天候不良によっては、画質、音質が悪くなる場合があります

雨の影響により衛星からの電波が弱くなっている場合は、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えます。（降雨対応放送が行われている場合）降雨対応放送に切り換わったときは、画面にメッセージが表示されます。

降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合があります。

●長時間動かない画像を映さないでください

動かない画像を長時間映していると、画面に映像が焼き付き、影のように画面に残る恐れがあります。動かない画像を長時間映さないでください。

●視聴記録の送信について

B-CASカードに記録される視聴記録データは、定期的に電話回線を通じ（株）B-CAS〔（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ〕へ自動送信されます。データ送信の電話料金は無料ですが、データ送信中は、同じ回線に接続の電話機は使用できません。

●操作できなくなった場合は

受信異常により、本機の操作ができなくなった場合はテレビ本体の主電源ボタンを一度「切」にしてください。

●本機に付属しているB-CASカード以外のものを挿入しないでください

B-CASカード挿入口には、正規のB-CASカード以外のものを挿入すると本機が故障したり破損することがあります。

本製品には、ACCESS 社製 BSデジタル放送向けブラウザ **NetFront^{for}DTV** を搭載しています。

Net Front は株式会社ACCESSの日本国における登録商標です。

Copyright (C) 1999-2001 ACCESS CO.,LTD.

留意点

■付属の ^{ビーカス}B-CASカードは、BSデジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合は、ただちに（株）^{ビーカス}B-CAS〔（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ〕カスタマーセンターへご連絡ください。お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。

■万一、本機の不具合により録画ができなかった場合の補償についてはご容赦ください。

■あなたがビデオデッキなどで録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

■本機から電話回線などを通じて通信を行なうと、通話料金無料のフリーダイヤルでないかぎり、電話料金はお客様の負担になります。

■本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社及びその他の著作権者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

■国外でこの製品を使用して有料放送サービスを楽しむことは、有料サービス契約上禁止されています。

■この説明書に記載の画面イラストは、実際に表示される画面と異なる場合があります。チャンネル番号、チャンネル名、番組名などを含め、実際に表示される内容については画面でご確認ください。

BSデジタル放送 について

BSデジタル放送は、放送衛星BSAT-2を利用したデジタル放送で、最新のデジタル信号圧縮技術を活用することによって従来のBS放送より多くのチャンネルや情報を送ることができるようになりました。BSデジタル放送では、従来のBS放送と比べて次のような特長があります。

デジタルハイビジョン

BSデジタル放送では、デジタルハイビジョン放送があり、従来のハイビジョンと同等以上の画質で放送されます。BSデジタル放送のデジタルハイビジョンの放送フォーマットは走査線数1125本（有効1080本）飛び越し走査の1125i（1080i）放送と走査線数750本（有効720本）順次走査の750p（720p）放送の2種類があり、大画面になっても細部まできれいに表現され臨場感豊かな映像を楽しめます。また、現行のテレビ放送とほぼ同等の画質のデジタル標準テレビ放送もあります。

多チャンネル放送

デジタル信号圧縮技術により、BSデジタル放送では、従来のBS放送の1チャンネル分に対し、デジタルハイビジョン放送の場合は2チャンネル分、デジタル標準テレビ放送の場合は6チャンネル分の放送がおこなえます。このため、7放送局でデジタルハイビジョン放送がおこなわれるほか、デジタルハイビジョン放送1番組とデジタル標準テレビ放送3番組を時間帯によって切り換えて放送するマルチチャンネル放送も可能となりました。また、データ放送やラジオ放送もあり、従来のBS放送と比べ大幅にチャンネル数が増えています。

データ放送

文字や静止画像によって必要な情報を選んで画面に表示させることができる新しい放送です。テレビ放送やラジオ放送に連動したデータ放送と、独立したデータ放送の2種類のデータ放送があります。データ放送では、電話回線を使用した視聴者参加番組やショッピング、チケット購入などの双方向サービスもあります。

サラウンド・ステレオ

音声信号技術MPEG-2 AAC方式の採用により、最大5.1チャンネルのサラウンド音声の番組も放送され、臨場感ある音声をお楽しみいただけます。ただし、5.1チャンネルのサラウンド音声をお楽しみいただくにはAAC方式の光デジタル音声信号入力に対応したオーディオ機器を接続する必要があります。

[5.1チャンネル：5チャンネルステレオ＋低域強調チャンネル]

電子番組ガイド（EPG：Electronic Program Guide）

BSデジタル放送では約8日分の番組情報が送られてきます。画面上にBSデジタル放送の番組表を表示させ、番組表から番組を選んで詳細情報を表示させたり、視聴や録画したい番組を事前に予約したりすることができます。

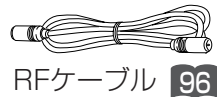
その他の新しい放送サービス

1チャンネルで主番組、副番組の複数映像が放送されるマルチビュー放送、雨の影響で電波が弱くなったときに受信ができなくなることを避けるために引き続き最低限必要な情報を小さい画面で受信できる降雨対応放送、および野球中継などが延長になった場合に野球中継は継続しながら別のチャンネルで予定の番組を放送したりできる臨時編成サービスなど、いままでになかった便利なサービスも予定されています。

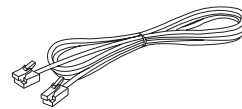
お使いになる 前の準備

付属品をご確認ください。
万一不足しているものがあれば、販売店に
ご連絡ください。

取扱説明書（本書）1冊



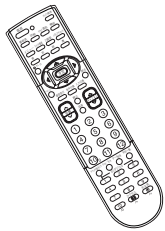
RFケーブル 96



モジュラーケーブル 101



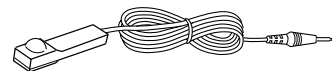
モジュラー分配器
(2分配用) 101



リモコン送信機 14



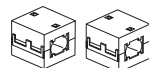
単3形乾電池 17



ビデオコントローラー 102



アンテナ
アダプター 97



フェライトコア (2個) 97



中継接栓 96

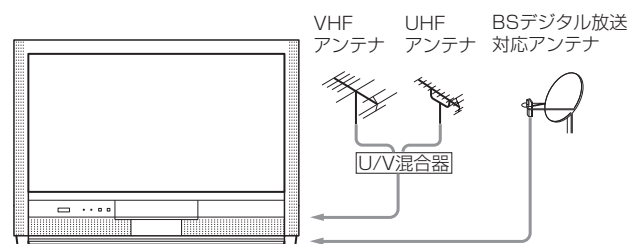


ビーキャスト
B-CASカード 100

1 アンテナ線をつなぐ 96 ~ 99

⚠ 注意

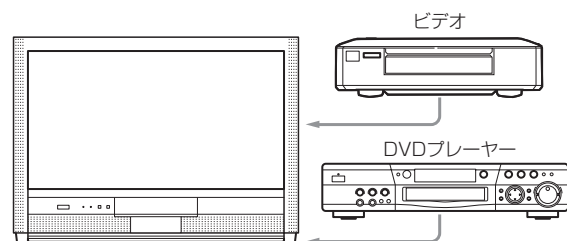
アンテナ工事には、技術と経験が必要です。
ので、販売店にご相談ください。



2 お手持ちの機器をつなぐ

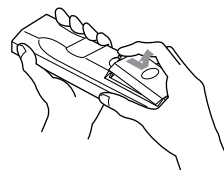
103 ~ 106, 144 ~ 151

後面部の豊富な端子群をフルにご活用ください。



3 リモコンに乾電池を入れる 17

付属の単3形乾電池をリモコンに入れます。



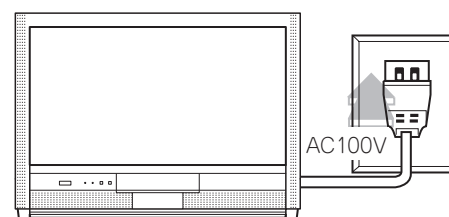
4 電源プラグをコンセントに差し込む

⚠ 警告

指定の電源電圧でご使用ください。表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

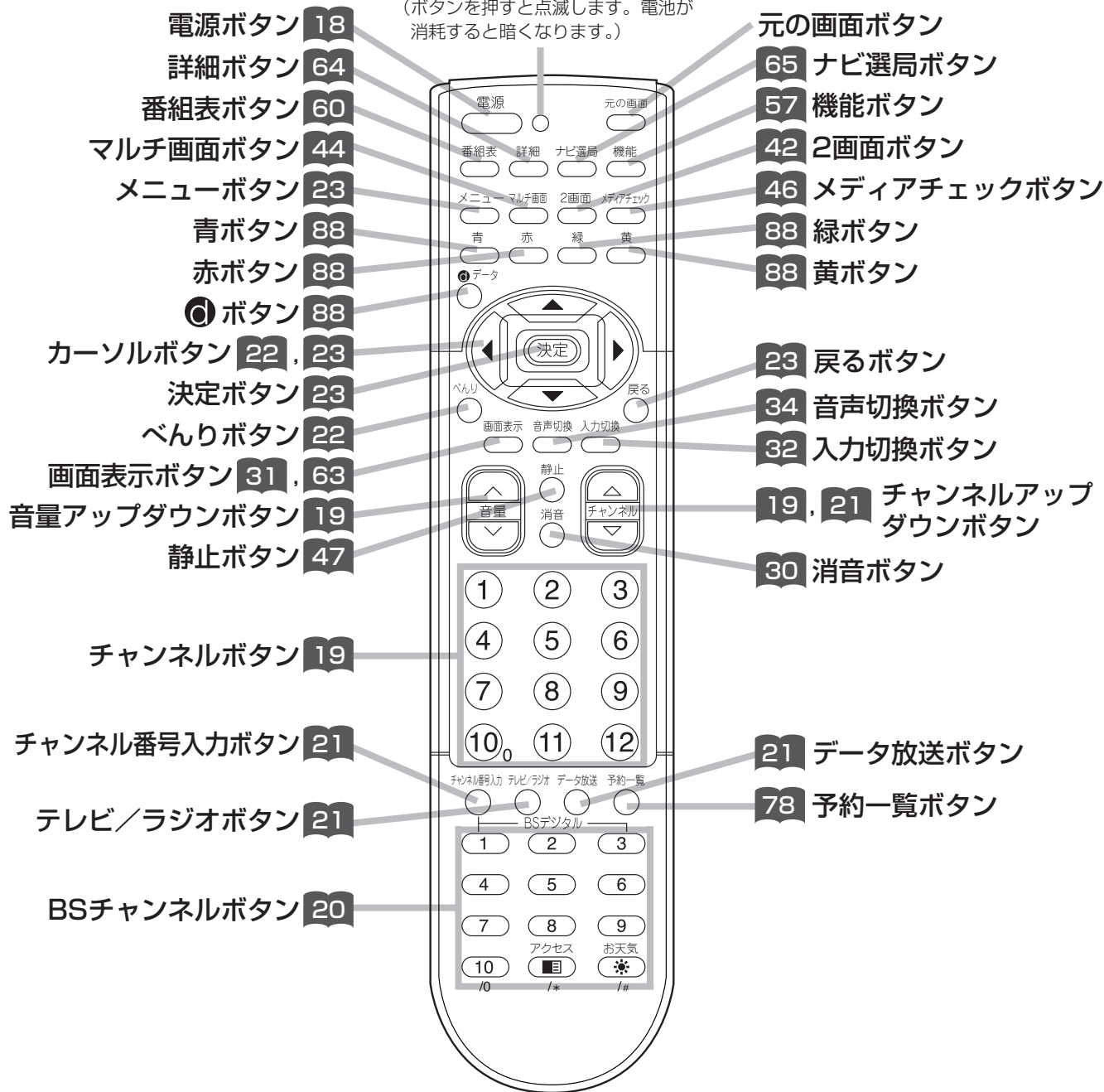


各部のなまえ

リモコン

リモコン操作表示ランプ

(ボタンを押すと点滅します。電池が消耗すると暗くなります。)



メモ

元の画面ボタンについて

2画面やメニュー表示、番組表などの状態から、1画面に戻すのに使用できます。

 内の数字は、
参照ページです。

テレビ本体前面

18 主電源ボタン

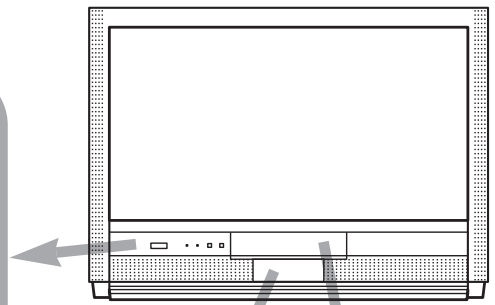
17 リモコン受信窓

18 スタンバイ/受像ランプ

36 ディマーマイ受光窓

主電源 スタンバイ(赤)受像(緑) 機能待機

機能待機ランプ
リモコンで電源を「切」にしたとき、次の場合に点灯します。
・BSch固定「入」(録画予約)にしているとき **55** **75**
・i.LINK待機を「する」にしているとき **142**
・ダウンロードしているとき **135**



(前面とびら内)

(表示窓)

データ放送表示 **BS放送表示** **56** 時刻表示

ラジオ放送表示 **56** チャンネル番号表示

字幕表示 87 **75** 予約表示

コピーガード表示 72 **75** 録画予約表示

音声切換表示 34 **75** 番組予約表示

55 BSch固定表示(番組固定表示)

63 メッセージ表示 **93** リンク表示

56 日付、曜日表示 **125** 通信中表示

90 メール表示

100 B-CASカード挿入口

「押-扉開」部を押します。

35 音量ボタン

35 入力切換ボタン

35 チャンネルボタン

40 ヘッドホン(ミニ)端子

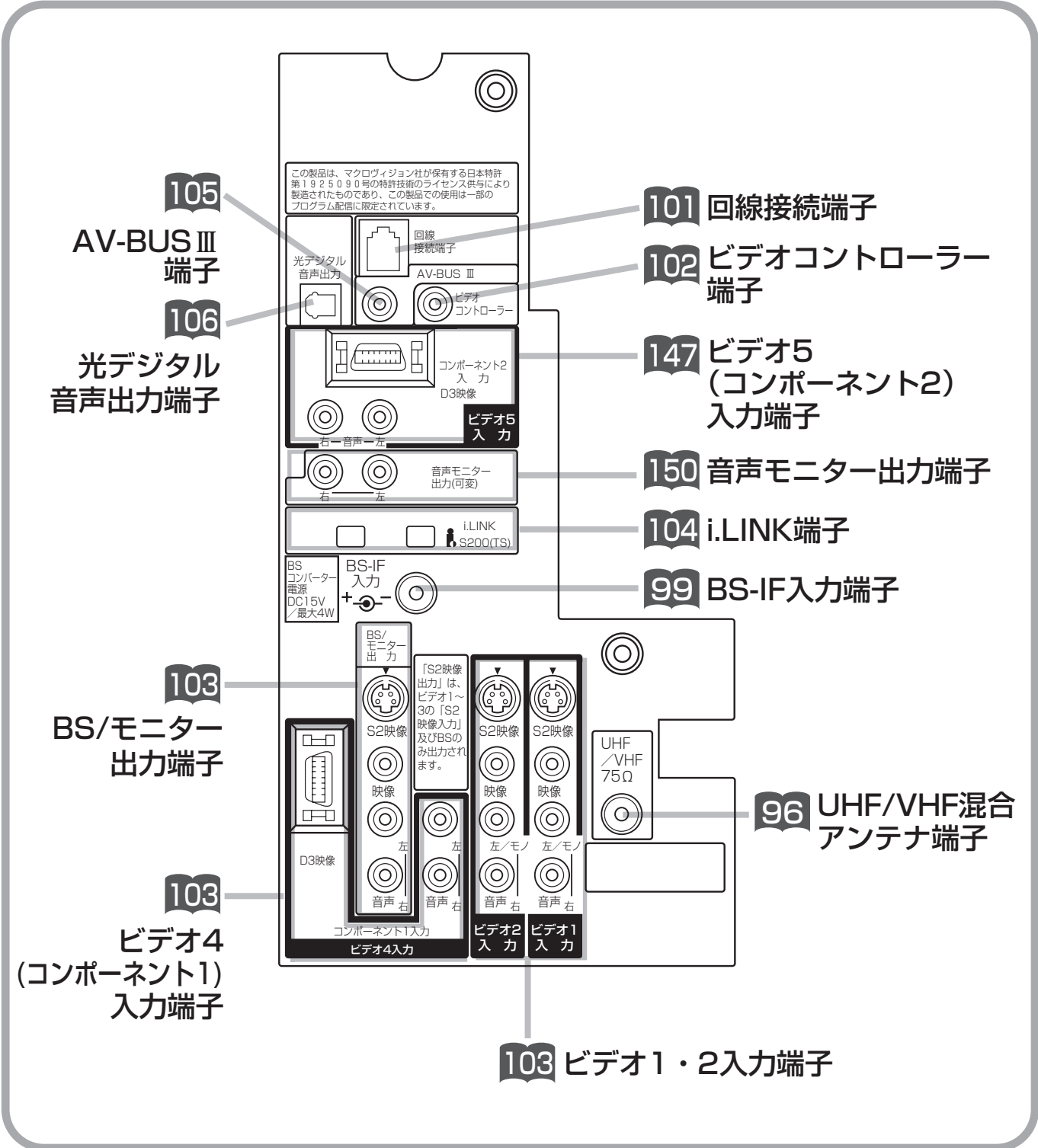
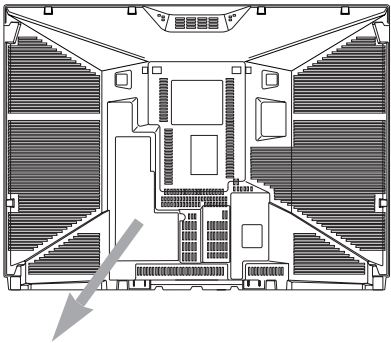
145 ビデオ3入力端子

カード挿入口 (サービスマン用)
※このフタは異物の挿入を防止するためのものです。外さずにそのままご使用ください。

別売りのミニプラグのヘッドホンをつなぐ端子です。ヘッドホンの音量を設定することができます。

各部のなまえ (つづき)

テレビ本体後面



リモコンの 取り扱い

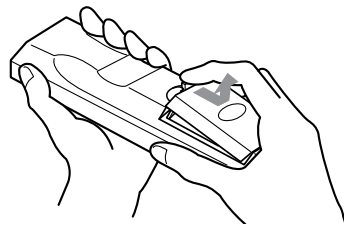
⚠ 注意

乾電池の使用上のご注意

- 本機で指定されていない電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。
- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。まちがえますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

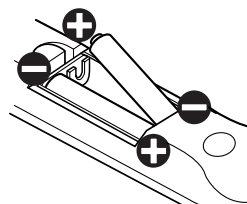
1 電池ぶたをはずす

電池ぶたのつまみを引き寄せながら、矢印の方向に引いて開けます。



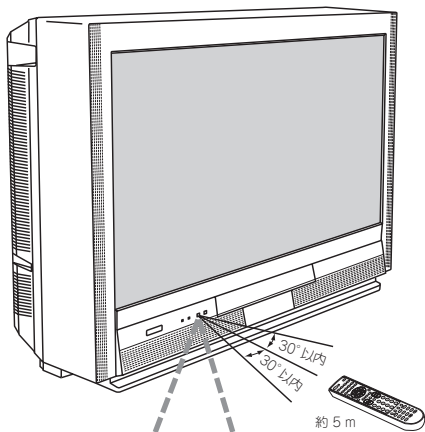
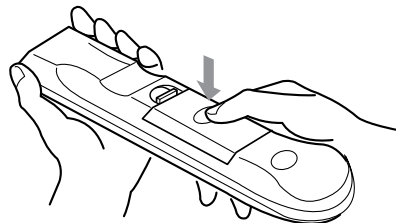
2 乾電池を入れる

付属の単3形乾電池を⊕、⊖の表示どおりに入れます。



3 電池ぶたを閉める

電池ぶたを矢印の方向に押し戻します。



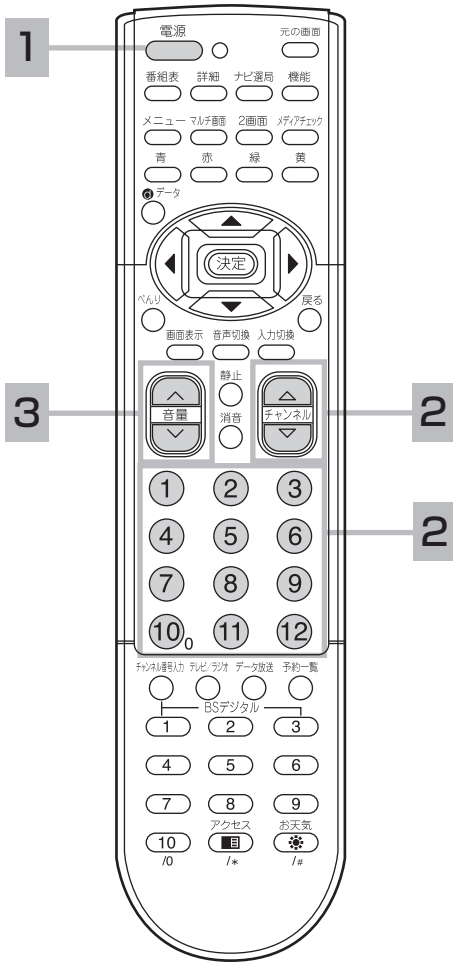
- リモコンは、本体のリモコン受信窓の正面から約5メートル、左30度、右30度の範囲内でお使いください。
- 外部機器を操作するときは、外部機器専用リモコンを使用して、外部機器のリモコン受信窓に向けてボタンを押してください。



お守りください リモコンの使用上のご注意

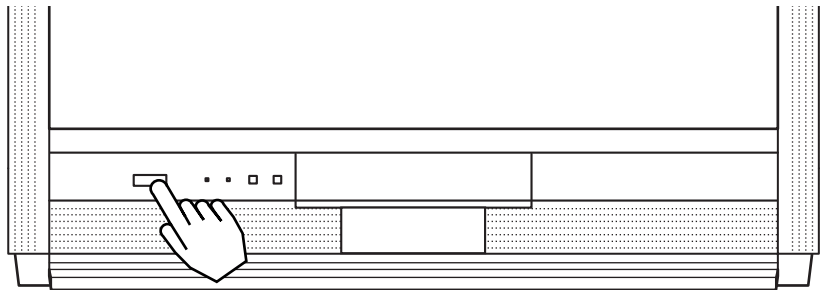
- リモコンを落したり、衝撃を与えないでください。
- リモコンに水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。故障の原因になります。
- 長時間で使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- リモコンの操作がしにくくなった場合、乾電池を交換してください。
- リモコン受信窓に直射日光などの強い光が当たると動作なくなることがあります。光が直接当たらないようにテレビの向きを変えてください。

テレビ放送
(VHF/UHF)を
楽しみたいとき



準備（主電源ボタン操作）

本体のスタンバイ／受像ランプが消えているときは、リモコンでは電源が入りません。
まず本体の主電源ボタンを押してください。



1 電源ボタンを押す

本体のスタンバイ／受像ランプが緑に点灯し、前に見ていたチャンネルが現れます。
電源を切るときは、もう一度押します。



スタンバイ（赤）
受像（緑）



お守りください

動作中に停電になったときのご注意
テレビが動作中に停電になった場合、停電の回復とともに電源が入ります。テレビから離れるときは本体の電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

2 チャンネルを選ぶ (1~12)

画面右上に選んだチャンネルが表示されます。
表示を消すこともできます。31



チャンネルアップダウンボタン  を使ってチャンネルを順逆送りで選ぶこともできます。

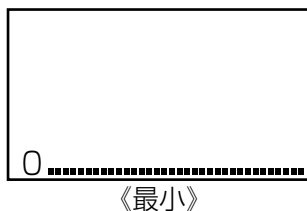
3 音量を調節する

音量の大きさが数字と  で画面に表示されます。



大きくなる

小さくなる



メモ

リモコンの操作は

スタンバイ/受像ランプが点灯しているときのみ、リモコンの操作は可能です。
リモコンの電源ボタンを押して電源を切っておくと、次回から電源の「入・切」もリモコンでできます。

本体操作で電源を入れるには

スタンバイ/受像ランプが赤く点灯しているときに、本体のチャンネル▲ボタンを押すと電源が入ります。35

お買い上げ時のチャンネル設定

- お買い上げ時は、VHF1~12チャンネルの12局が設定されています。
チャンネルの設定を変更することもできます。107、115
- チャンネルアップダウンボタンでチャンネルを選ぶとき、空きチャンネルの飛び越し選局 122 の設定をすると、空きチャンネルを飛び越して放送されているチャンネルをすばやく選局することができます。

マルチ画面を見たいとき

リモコンの2画面とマルチ画面ボタンで、お好みのマルチ画面を見ることができます。42 44

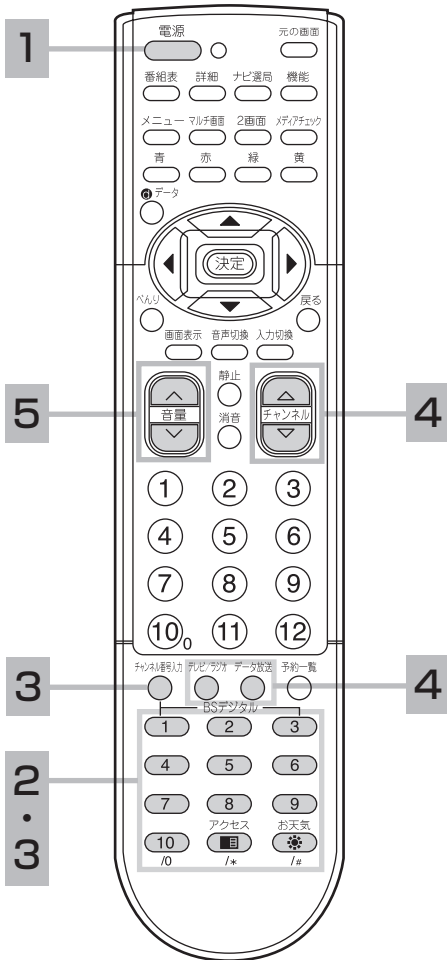
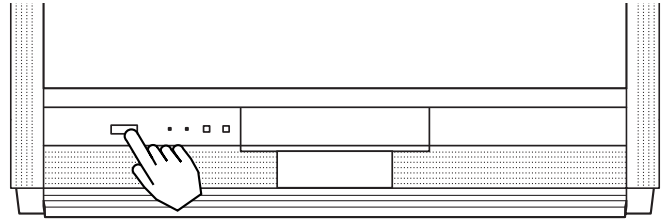
メディアチェックで選びたいとき

テレビ放送、BSデジタル放送および外部入力映像を画面で選ぶことができます。46

BSデジタル 放送を楽しみたい とき

準備（主電源ボタン操作）

本体のスタンバイ／受信ランプが消えているときは、リモコンでは電源が入りません。
まず本体の主電源ボタンを押してください。



1 電源ボタンを押す

本体のスタンバイ／受信ランプが緑に点灯し、前に見ていたチャンネルが現れます。
電源を切るときは、もう一度押します。

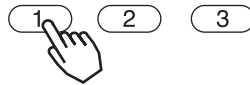


2 ワンタッチ選局

本機では、あらかじめ (1) ~ (10)、^{アクセス} (10)、^{お天気} (10) ボタンにチャンネルを設定（プリセット）しています。直接 (1) ~ (10)、^{アクセス} (10)、^{お天気} (10) ボタンを押すと、設定されているチャンネルを簡単に選局できます。

チャンネルを選ぶ

画面右上に選んだチャンネルが表示されます。
表示を消すこともできます。63



選んだ番組によって、以降の操作が異なります。

- 有料番組を選んだとき 72
- 視聴制限の対象になる番組を選んだとき 86

お買い上げ時のプリセット設定について

お買い上げ時のプリセット設定は、下表の通りです。
プリセットされているチャンネルは変更ができます。129

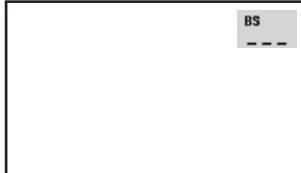
(1) (101チャンネル)	NHK1 (NHK BS1)	(7) (171チャンネル)	BSジャパン
(2) (102チャンネル)	NHK2 (NHK BS2)	(8) (181チャンネル)	BSフジ
(3) (103チャンネル)	NHKh (NHKハイビジョン)	(9) (191チャンネル)	WOWOW
(4) (141チャンネル)	BS日テレ	(10) (200チャンネル)	スター・チャンネルBS
(5) (151チャンネル)	BS朝日	^{アクセス} (10) (755チャンネル)	BS朝日データ
(6) (161チャンネル)	BS-i	^{お天気} (10) (910チャンネル)	ウェザーニュース

3 番号で直接選ぶ（番号入力選局）

選局したいチャンネル番号があらかじめ分かっている場合は、3桁のチャンネル番号を入力して選局できます。

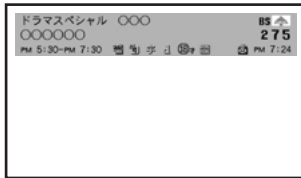
①チャンネル番号入力ボタンを押す

チャンネル番号入力画面が表示されます。



②ご覧になりたいチャンネル番号を入力する

例：チャンネル番号275を選局する場合



選んだ番組によって、以降の操作が異なります。

- 有料番組を選んだとき **72**
- 視聴制限の対象になる番組を選んだとき **86**

メモ

番号入力選局について

チャンネル番号を正しく入力しなかったときや約5秒以内に次の番号を押さなかったときは、選局動作をしません。

アップダウン選局について

「BSメニュー」画面のチャンネル設定 **129** により順送りするチャンネルが異なります。なお、チャンネルの設定については **129** をご覧ください。

4 アップダウン選局

BSデジタル放送には、テレビ（BS）放送、ラジオ放送、データ放送の3つのサービスがあります。チャンネルボタンを押すと、受信できるサービス（例えばテレビ放送のサービス）のチャンネルのみを順逆送りに選局します。

①テレビ／ラジオボタンまたは、データ放送ボタンを押して、サービスを選ぶ



- テレビ／ラジオボタン：
テレビ（BS）放送、ラジオ放送で最後にご覧になっていたチャンネルを選局します。
- データ放送ボタン：
最後にご覧になっていたデータ放送のチャンネルを選局します。

②チャンネルアップダウンボタンを押す



チャンネルを順逆送りで選局することができます。

選んだ番組によって、以降の操作が異なります。

- 有料番組を選んだとき **72**
- 視聴制限の対象になる番組を選んだとき **86**

機能メニュー画面でもサービスを切り換えることができます。 **71**

マルチ画面を見たいとき

リモコンの2画面とマルチ画面ボタンで、お好みのマルチ画面を見ることができます。ただし、異なるBSチャンネルを同時に2画面で見ることができません。

42 44

メディアチェックで選びたいとき

テレビ放送、BSデジタル放送および外部入力映像を画面で選ぶことができます。 **46**

お知らせ

電源を切るときに、最後にご覧になっていたチャンネルがBSデジタル放送の場合、再度電源を入れたときは、画面が出画するまで10秒程度の時間がかかることがあります。

5 音量を調節する

音量の大きさが数字と ■■■■■... で画面に表示されます。



大きくなる

小さくなる



《最大》



《最小》

べんり機能の 使いかた

べんり機能を使うと見ている画面に応じてお好みの設定にすることができます。
これらの設定項目は上下左右方向に矢印（▲）のついたカーソルボタンを使って機能の設定ができます。

べんり機能の項目の選びかた

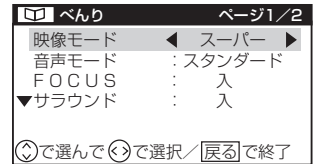
1 べんりボタンを押す

べんり画面（1/2ページ目）が現れます。
べんりボタンを押すたびに下記のように切り換わります。

1/2ページ目 → 2/2ページ目 → 通常画面



2 方向キーで項目を選び、決定キーで設定する



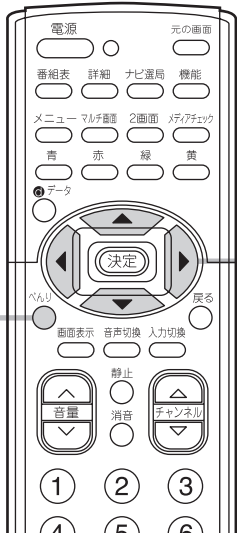
- 「▼」の表示があるときは、べんりボタンまたは決定キーを押すと、次のページが表示されます。
- 「▲」の表示があるときは、戻るボタンまたは決定キーを押すと前のページが表示されます。

3 設定が終わったらべんりボタンを1~2回押す

- 元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。



1
3



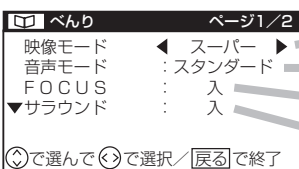
メモ

リモコンの戻るボタンについて
べんり機能やメニュー 23 の設定画面のとき戻るボタンを押すと、前の設定画面に戻したり、設定画面を終了させることができます。

べんり機能で設定できる項目について

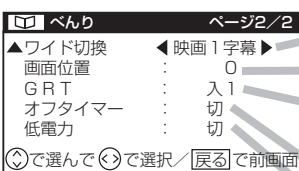
■通常のテレビ放送・BSデジタル放送・ビデオ入力時

1ページ目



- 36 映像の自動調整モード（映像モード）を選ぶことができます。
- 41 音声モードを設定することができます。
- 41 音声のFOCUS機能を入/切することができます。
- 41 音声のサラウンドモードを設定することができます。

2ページ目



- 24 画面のワイドモードを選ぶことができます。オートワイドを選ぶこともできます。
- 27 画面の位置を上下に移動することができます。
- 29 テレビ放送のゴースト妨害を低減することができます。メニュー画面の「GRT設定」で設定することもできます。ビデオ入力時、BS受信時は「GRT」の設定はできません。「入/切」表示が「-」表示になりGRTを選択すると「切換できません」の表示がでます。
- 48 自動的にテレビの電源を切ることができます。
- 33 明るさをおさえて消費電力を低減させることができます。

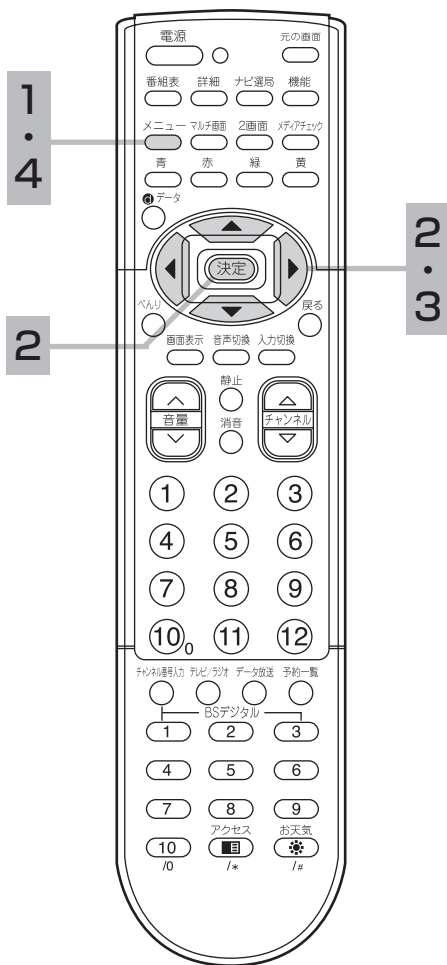
■2画面/マルチ画面時（BSデジタル放送選択時）



- 43 45 2画面/マルチ画面でBSデジタル放送のデータ放送を操作するときに切り換えます。

メニュー機能の 使いかた

メニューボタンを押すと画面にメニューが表示され、カーソルボタンを使って、ほとんどの機能の設定ができます。



1 メニューボタンを押す

メニュー画面が現れます。



2 方向キーで項目を選び、決定ボタンを押す



37 映像設定

39 音声設定

49 他の設定

50 初期設定

124 BSメニュー

映像設定		ページ1/2
映像モード	: スーパー	
明るさ	: + 3 1	
黒レベル	: + 9	
色の濃さ	: 0	
色あい	: - 3	
画質	: - 1	
色温度	: 高	
標準		

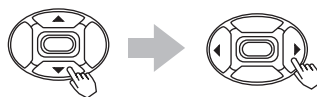
⏪ で選んで [決定] を押す / [戻る] で終了

3 方向キーで設定する



方向キーで項目を選んで、方向キーで設定（または選択、調節）します。

〈映像設定を選んだときの設定画面表示の例〉



映像設定		ページ1/2
映像モード	◀ スーパー ▶	
明るさ	: + 3 1	
黒レベル	: + 9	
色の濃さ	: 0	
色あい	: - 3	
画質	: - 1	
色温度	: 高	
標準		

⏪ で選んで ⏩ で選択 / [戻る] で前画面

- 「▼」の表示があるときは、方向キーを押すと、次のページが表示されます。
- 「▲」の表示があるときは、戻るボタンまたは方向キーを押すと前のページが表示されます。

4 設定が終了したらメニューボタンを1~2回押す

画面表示が消えて、設定が完了します。



- 元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

メモ

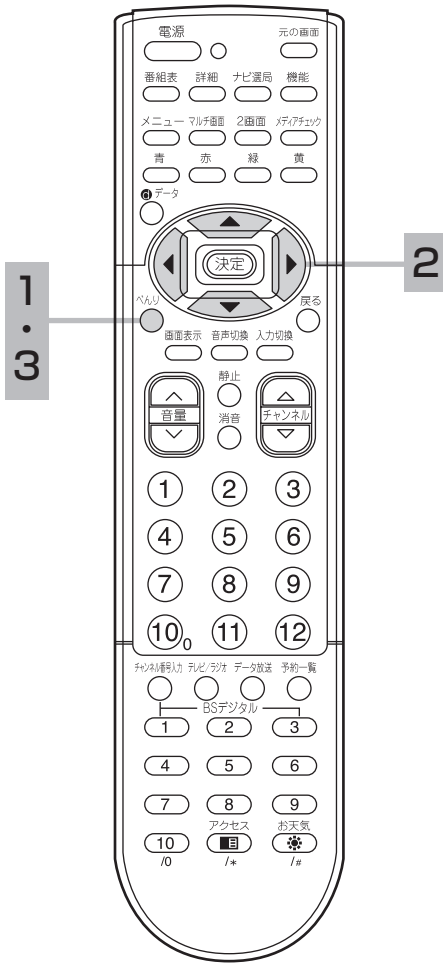
リモコンの戻るボタンについて
戻るボタンを押すと、前の設定画面に戻したり、設定画面を終了させることができます。

ワイド機能を楽しみたいとき

本機は横長のワイド画面を採用していますので、現行テレビ放送の映像も、映画など横長サイズの映像も、ワイド機能を使って画面一杯に拡大してお楽しみいただけます。さらに映像を上下に移動させて見やすい位置にすることもできます。

オートワイド (ジャスピタツワイド)

本機は、見ている映像に合わせて最適なワイドモードを設定する「オートワイド (ジャスピタツワイド)」機能を採用しています。また、お好みに合わせてワイドモードを選ぶこともできます。



ワイドモードの選びかた

1 べんりボタンを2回押す

べんり機能の設定画面 (2ページ目) が表示されます。



2 ①で「ワイド切換」を選び、②でワイドモードを設定する



べんり		ページ2/2
▲ワイド切換	◀	映画1字幕▶
画面位置	:	0
GRT	:	入1
オフタイマー	:	切
低電力	:	切
◀で選んで ▶で選択 / 戻るで前画面		

①を押すたびにワイドモードは次のように変わります。



- BSデジタル放送では、標準放送の525i(480i)で4:3映像のときにワイド切換することができます。BSデジタル放送では、オートワイドは選択できません。
- お買い上げ時は、テレビ放送/ビデオ入力時は「オート (オートワイド)」、BSデジタル放送時は「スムーズ」に設定されています。

3 設定が終了したらべんりボタンを押す

元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。



お知らせ

- このテレビは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選ばすと、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点にご留意のうえ、画面モードをお選びください。
- このテレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、ワイド機能を使った拡大状態で使用されると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- ワイド映像でない従来 (通常) の4:3の映像をオートまたはスムーズモードを利用して、ワイドテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、ノーマルモードで

ご覧になれます。

- 本機は、フルモード制御信号やレターボックス制御信号の入った映像をビデオ1~3のS2映像入力に入力すると、自動的にフルモードまたは映画1モードに切り換わります。
- BSデジタル放送のハイビジョン放送1125i(1080i)、750P(720P)や標準放送の525P(480P)を受信すると、ワイドモードは自動的にフルモードに固定され、ワイド切換はできません。また標準放送の525i(480i)を受信したとき、フルモード制御信号やレターボックス制御信号を検出すると自動的にフルモードまたは映画1モードに固定され、ワイド切換はできません。
- ビデオ4、5のコンポーネント入力端子に1125i(1080i)の信号を入力すると、ワイドモードは自動的にフルモードに固定され、ワイド切換はできません。

メモ

オート以外のワイドモードに設定した場合は、電源「入」、「切」、チャンネル切り換えなどの操作により、ワイドモードが初期化されます。このときオートワイド設定 **49** で設定されているワイドモード (スムーズまたはノーマル) に戻ります。

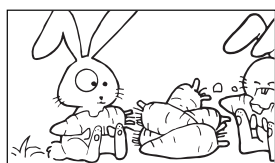
オートワイドの効果（テレビ／ビデオ入力時）

見ている映像が上下に黒い帯の入った横長サイズの映像のとき

横長サイズの映像を画面のサイズ、画面の中心位置を最適にして上下の黒帯を最小になるように表示します。また、字幕などの文字を最適に再生できます。



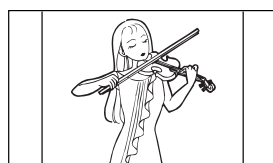
ノーマルモードのとき



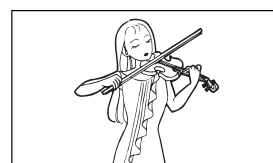
オートワイドが働いたとき

見ている映像が通常の映像のとき

通常の4：3の映像を横方向に不自然にならないように拡大し、垂直方向にも10%拡大してワイド画面一杯に違和感なく表示します。



ノーマルモードのとき



オートワイドが働いたとき

お知らせ

通常の4：3の映像を見ているときにオートワイドが働くと、「他の設定」の「オートワイド設定」が「スムーズ」に設定されている場合は、画面一杯にスムーズサイズで表示します。

「オートワイド設定」が「ノーマル」の設定になっている場合は、ノーマルサイズで表示します。 **49**

メモ

オートワイドについて

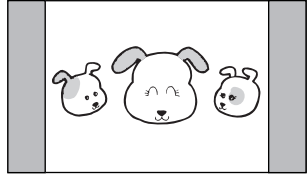
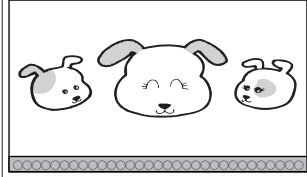
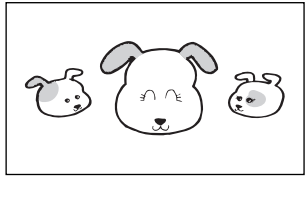
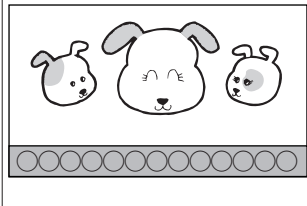
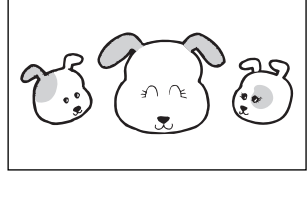
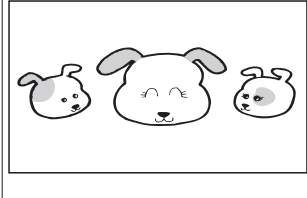
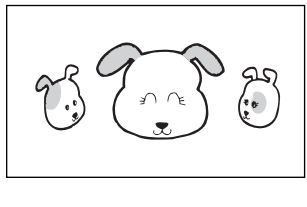
- 映像のサイズによっては上下に黒い帯が残る場合があります。
- 暗い映像の画面などでは、最適なワイドモードにならない場合があります。このような場合は、「オート」モード以外のお好みのワイドモードに設定してください。
- 最適なワイドモードになるまで、映像の内容によって多少時間がかかる場合があります。
- ビデオ4、5のコンポーネント入力端子では、1125i（1080i）信号のとき、画面が自動的にフルモードになります。
- ビデオ4、5のコンポーネント入力端子にD端子ケーブルで525i（480i）、525P（480P）信号を入力したときは、アスペクト比制御信号を検出して、自動的にワイドモードを切り換えます。
- ビデオ4、5のコンポーネント入力端子にD端子ケーブルで525i（480i）、525P（480P）信号を入力したときは、525i（480i）信号では画面のサイズ、画面の位置を自動的に最適に、525P（480P）信号では、自動的にフルモードに切り換わります。

ワイドクリアビジョン放送識別について

- ワイドクリアビジョン放送は、現行のテレビ放送方式と両立性を保ちながら、放送信号にワイドクリアビジョン放送識別信号と画質向上信号を付加し、ワイド画面化と画質向上を図ろうとする放送方式です。本機は上記ワイドクリアビジョン放送識別信号に対応して、現行方式かワイドクリアビジョン放送かを識別し、ワイドクリアビジョン放送であれば自動的に最適サイズに切り換える回路を搭載しています。
- ワイドクリアビジョン放送識別は「オート」モード時のみ有効です。
- ワイドクリアビジョン放送受信中に画面表示ボタンを押したとき、またはチャンネル切り換え、入力切り換えをしてワイドクリアビジョン放送を受信したときのみ **[Z]** が表示されます。
- ワイドクリアビジョン放送をビデオに録画して再生する場合や電波受信状態（ゴースト、弱電界など）によっては、ワイドクリアビジョン放送識別がうまく動作しない場合があります。このような場合は、「オート」モード以外のお好みのワイドモードに設定してください。

ワイド機能を楽しみたいとき (つづき)

その他のワイドモードについて

	<p>ノーマル (通常の状態) 通常のテレビ放送の映像は中央に映ります。</p>		<p>映画1字幕 字幕付のビスタサイズの映像に最適です。</p>
	<p>スムーズ 4：3の映像を画面中央の真円度を保ち、水平方向に不自然にならないように画面一杯にし、垂直方向に10%拡大します。ドラマなどのスタジオ番組に最適です。</p>		<p>映画2字幕 字幕付のシネスコサイズの映像に最適です。 (お買い上げ時の画面位置は+10に設定されています。)</p>
	<p>映画1 ビスタサイズの映画などを水平・垂直両方向に約30%拡大します。上下に黒帯の入った映像で放送されている映画などを迫力の画面で楽しめます。</p>		<p>フル 横方向を圧縮して記録された映像(スクイーズ映像)を横方向に画面一杯まで拡大します。 ハイビジョン番組を楽しむときなどに使います。</p>
	<p>映画2 シネスコサイズの映画などの両側を少し縮小し、画面一杯に拡大します。上下に黒い部分がなくなり迫力の画面で楽しめます。</p>		

メモ

ワイド機能の上手な使いかた

通常のテレビ放送



「ノーマル」



「スムーズ」にして楽しむ

上下に黒帯のある映像

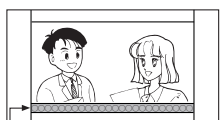


「ノーマル」



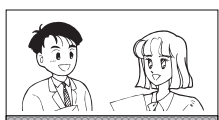
「映画1」または「映画2」
にして楽しむ

上下に黒帯があり字幕のある映像



「ノーマル」

字幕部



「映画1字幕」または
「映画2字幕」にして楽しむ

スクイーズ映像(横圧縮映像)



「ノーマル」

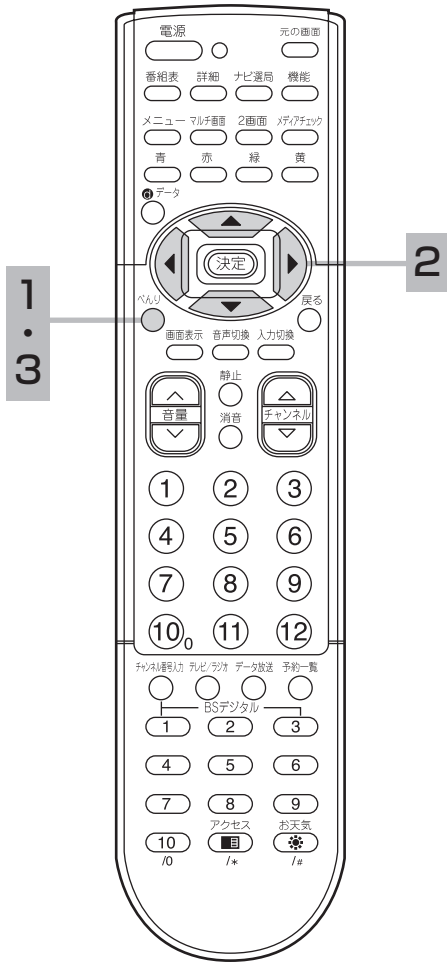


「フル」にして楽しむ

画面位置を調節したいとき

「ノーマル」、「フル」以外のワイドモード時（テレビ/ビデオ入力時）は、画面を上下に移動することができます。

「映画1」「映画2」モード時に字幕が消えてしまうようなときにお使いになると便利です。



1 べんりボタンを2回押す

べんり機能の設定画面（2ページ目）が表示されます。



2 方向キーで「画面位置」を選び、方向キーでお好みの位置に調節する



スムーズ、映画1字幕は±12、映画1、映画2、映画2字幕は±31の範囲で画面位置調節ができます。



3 設定が終了したらべんりボタンを押す



元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。

お知らせ

BSデジタル放送では、画面位置は調節できません。

ゴースト妨害を
低減したいとき
(ゴーストリダクション)

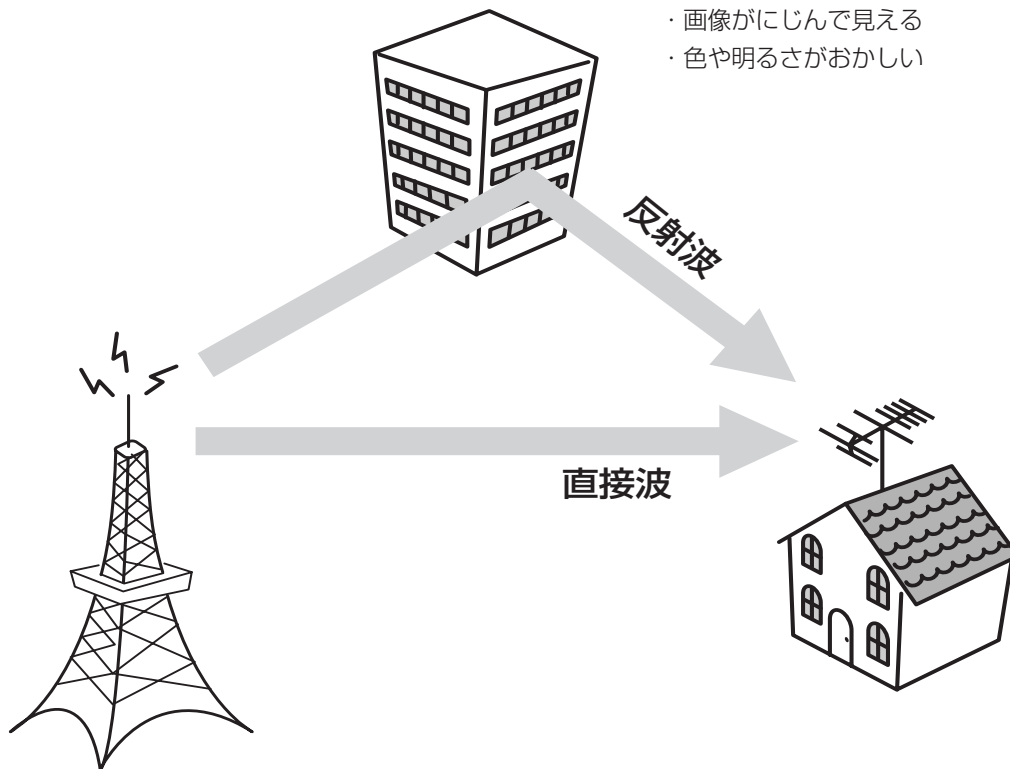
本機は、ゴースト妨害を低減するゴースト・リダクション・チューナー（GRT）を搭載しています。テレビ放送のゴースト妨害を低減した映像を楽しめます。

ゴースト妨害とは

放送局から直接到着する電波（直接波）と、高層ビルや山などに反射して少し遅れて到着する電波（反射波）を同時に受信すると、二重三重の画像になります。この現象をゴースト妨害といいます。

反射波によって、受信中の画像が次のように見えます。

- ・画像が二重三重に見える
- ・画像がにじんで見える
- ・色や明るさがおかしい



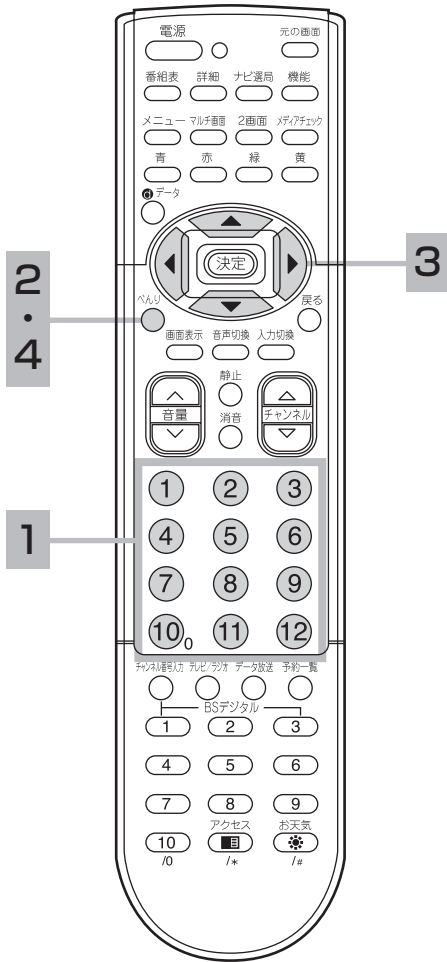
お知らせ

- ゴースト低減は、放送局から送られてくる信号の中にあるゴースト除去基準信号（GCR信号）に基づいて行います。このGCR信号がないときは、ゴーストは低減できません。
- ゴーストリダクションは、テレビ放送をご覧になっているときに働きます。BS受信時やビデオ入力に入力した映像に対しては働きません。
- テレビ放送をご覧になっているときでも、次のような場合はゴーストリダクションが働かなかったり、ゴーストが残ることがあります。
 - ・受信状態が良くないとき
UHF/VHFアンテナの向きが合っていない場合やアンテナ線の接続が正しくない場合など **96**
 - ・ゴースト妨害が大きいとき
 - ・飛行機など動きのあるものに反射してゴーストが引き起こされたとき
 - ・ゴーストの数が多いとき
- 付属のRFケーブルをUHF/VHF混合アンテナ端子に接続する場合は、フェライトコアを巻き付けて接続することをおすすめします（**97** をご覧ください）。よりきれいな信号を受信することができます。

ゴーストを低減したいとき

テレビ放送をご覧になっているとき、ゴーストが気になるときはGRT設定を行います。
GRT設定は、各チャンネルごとに設定することができます。

複数のチャンネルのGRT設定をまとめて行いたいときは、メニュー画面で設定することもできます。**120**



1 チャンネルボタンを押す

ゴーストが気になるチャンネルを選びます。

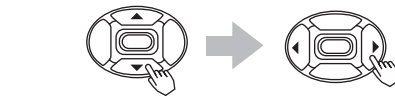


2 べんりボタンを2回押す

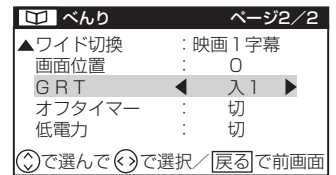
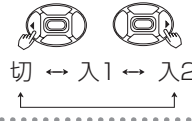
べんり機能の設定画面（2ページ目）が表示されます。



3 方向キーで「GRT」を選び、方向キーでお好みに設定する



モードは右図のように切り換わります。



「入1」	通常はこの位置で使用します。お買い上げ時は「入1」が設定されています。
「入2」	「入1」でゴースト低減の効果が小さいときに選びます。
「切」	ゴーストリダクション機能は動きません。「入1」や「入2」のときよりも「切」のほうが見やすいときは「切」にしてください。

4 設定が終了したらべんりボタンを押す



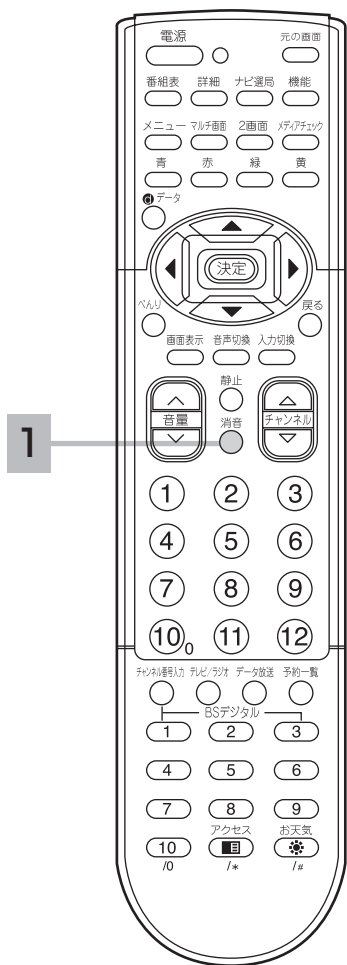
元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。

お知らせ

- ゴーストの無い地域では、GRT設定を「切」にしてお使いになることをおすすめします。
- ゴーストの状態によっては、「入1」または「入2」の設定でも、ゴーストが取り切れない場合があります。
- BSデジタル放送またはビデオ入力端子から入力した画面を見ているときのGRT設定は「-」と表示され設定することができません。
- チャンネル合わせ（地域番号）で地域番号を変更したり **107**、チャンネル合わせ（マニュアル）でチャンネル設定を変更する **115** と、GRT設定は自動的に「入1」が設定されます。必要に応じてもう一度設定してください。
- ゴースト低減された信号をモニター出力端子から出力することはできません。
- マルチ画面や静止画でご覧になっているときは、ゴーストリダクション機能は動きません。
- ゴーストリダクション機能は、テレビの電源を入れたとき、またはテレビチャンネルを選んだときに働きます。
- ゴーストリダクション機能が動くときに画面がガタつくことがあります。故障ではありません。
- VHF/UHFアンテナの設置や調整を行うときは、GRT設定を「切」にするとゴーストの少ない方向を確認しやすくなります。
- ビデオのアンテナ出力を1chまたは2chにしてテレビと接続しているときは、GRT設定を「切」にしてください。

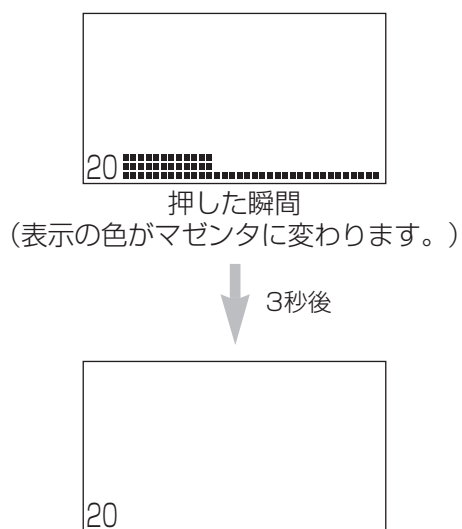
電話がかかってきたとき、来客のときなど便利です。

音を一時的に消したいとき



1 消音ボタンを押す

音が消えて、画面に図のような表示が出ます。
もう一度押すと元の音量に戻ります。



メモ

消音時でも小さな音を出しておきたいとき

- 消音ボタンを押したときに、完全に音を消さずに小さな音を出しておくことができます。
ミュート音量の設定をしてください。**40**
- 消音にしたままでも音量(∨)ボタンを押すことにより、音量の設定を変えることができます。音を出すときは、もう一度消音ボタンを押すか、音量(∧)ボタンを押してください。

チャンネル番号などを
知りたいとき



1 画面表示ボタンを押す

ご覧のチャンネルの番号が画面に表示されます。表示を消すときは、もう一度押します。



ワイド マークについて

このマークは、ワイドクリアビジョン放送を識別した際に出るマークです。 25

お知らせ

BSデジタル放送のときは

BSデジタル放送のときは、番組タイトル、開始時刻、終了時刻などが表示されます。

詳しくは、「見ている番組のタイトルなどを表示する」 63 をご覧ください。

ビデオのときは

ビデオのときは、入力端子に接続した機器に合わせて表示を書き換えることもできます。 52

画面表示

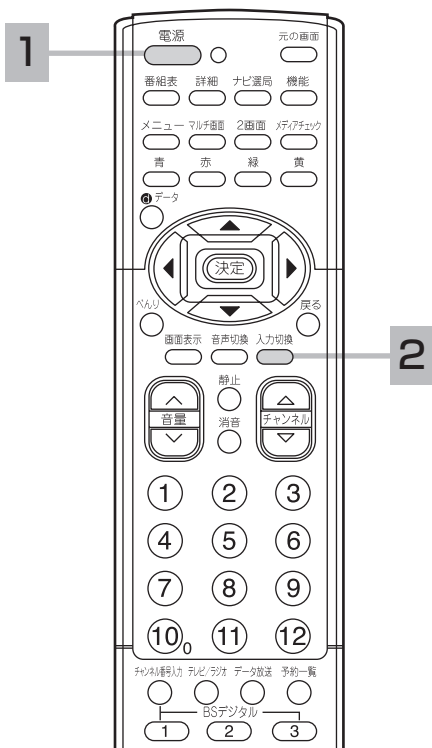
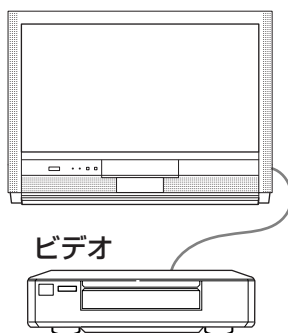
●テレビ放送のとき	●ビデオのとき
4 モノラル放送時 (緑で表示)	ビデオ1 -ビデオ入力番号 ビデオ4, 5にコンポーネント信号を入力したときは以下のように表示されます。 ビデオ4 ビデオ5 コンポーネント1 コンポーネント2
4 モノラル指定時 (緑で表示) モノラル	
4 二重音声放送時 (赤で表示) 主 例) 主音声	
4 ステレオ放送時 (黄で表示)	

ビデオを
見たいとき

準備

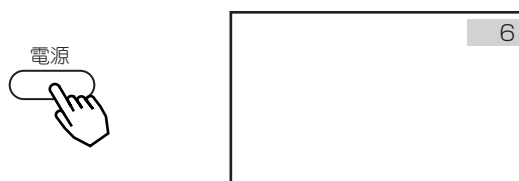
お手持ちのビデオを本機の入力端子に接続します。
接続についての詳しい説明をご参照ください。103

D-VHSビデオデッキを楽しみたいときは 93、104 をご覧ください。



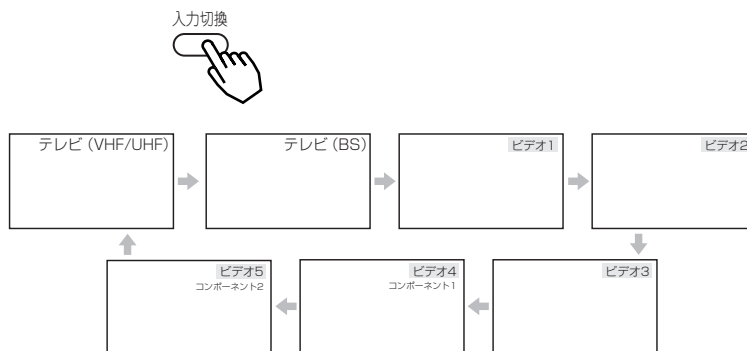
1 電源ボタンを押す

前に見ていたチャンネルが現れます。
(前にビデオを見ていたときは、ビデオ1などのビデオ画面になります。)



2 入力切替ボタンを押して、ビデオ画面を選ぶ

押すごとに、図のように切り換わります。(お買い上げ時)
お手持ちの機器が接続されているビデオ入力を選びます。



3 ビデオを再生する

メモ

ビデオの再生中にテレビを見るには

途中でテレビを見るときは、入力切替ボタンまたは、ご希望のチャンネルボタンを押してください。

ビデオ4、5について

ビデオ4、5入力端子はコンポーネント映像信号の入力端子(D3映像端子)です。D1~D3映像のいずれかの出力端子のある映像機器を接続します。

D3映像端子に接続すると「コンポーネント1」または「コンポーネント2」の表示がでます。103 147

入力スキップ設定について

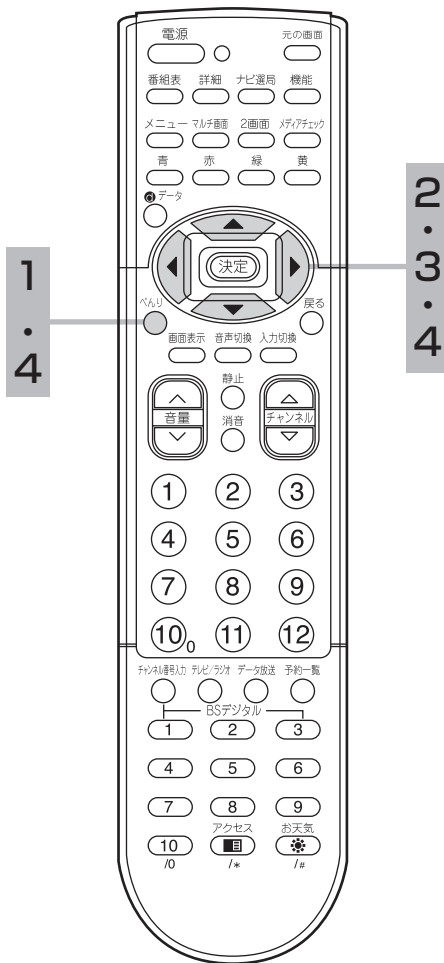
ご使用にならない入力端子がある場合、入力切替ボタンを押したとき飛ばし(スキップ)させることができます。54

ビデオ入力表示書換について

接続する機器に合わせてビデオ入力やコンポーネント入力の表示を書き換えることができます。52

低電力モードに
設定するとき

明るさをおさえて、消費電力を低減できるモードです。



1 ベ入りボタンを2回押す

ベ入り機能の設定画面（2ページ目）が表示されます。



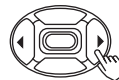
2  で「低電力」を選ぶ



べ入り		ページ2/2
▲ワイド切換	◀映画1字幕▶	
画面位置	: 0	
GRT	: 入1	
オフタイマー	: 切	
低電力	: 切	

◁で選んで ▷で選択 / 戻るで前画面

3  で設定する



べ入り		ページ2/2
▲ワイド切換	◀映画1字幕▶	
画面位置	: 0	
GRT	: 入1	
オフタイマー	: 切	
低電力	: 入	

◁で選んで ▷で選択 / 戻るで前画面

4 設定が終了したら、べ入りボタンを押す



元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

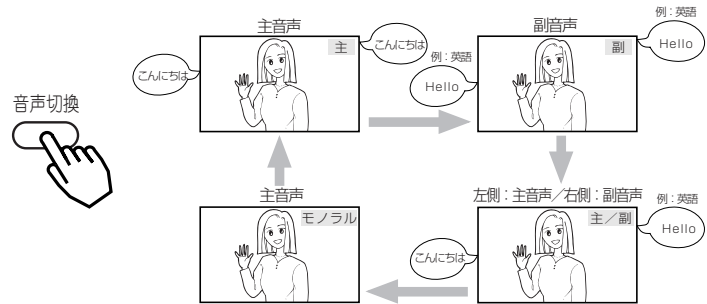
音声内容の 選びかた

二重音声放送およびステレオ放送のときには、2カ国語（二重）音声、ステレオ音声など音声内容を選ぶことができます。

二重音声放送のとき

1 音声切換ボタンを押す

音声切換ボタンを押すごとに、図のように切り換わります。

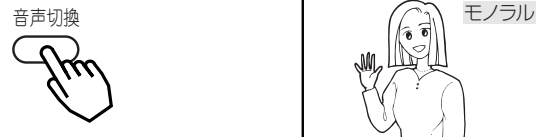


ステレオ放送のとき

ステレオ放送が始まると自動的にステレオ音声になります。

（「主」「副」「主／副」のいずれかに設定しているとき）

- テレビ放送時、電波が弱いとか雑音が多いなどステレオ音声聞きづらいときは「モノラル」にすると聞きやすくなることがあります。

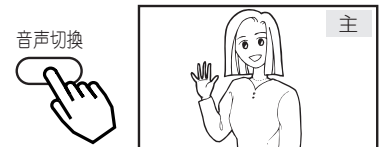


BSデジタル放送の音声信号を切り換えるとき

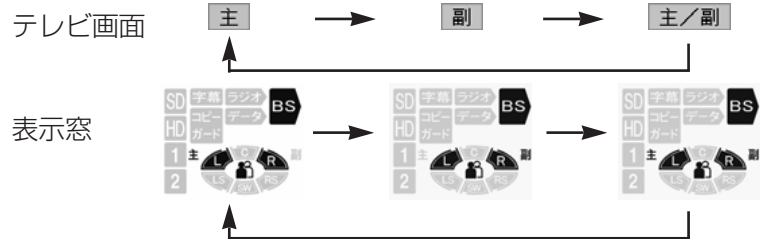
二重音声の番組を見ているとき、お好みに合わせて聞きたい音声を選ぶことができます。

1 音声切換ボタンを押す

音声切換ボタンを押すごとに、図のように切り換わります。



● 二重音声番組の場合



● ステレオ番組のとき



● モノラル番組のとき



お知らせ

- ステレオ番組やモノラル番組のときは、音声切換ボタンを押しても、音声は切り換わりません。
- サラウンドステレオ番組のときは、音声モードに応じて、C、LS、RS、SWの外側の枠が点灯します。

メモ

BSデジタル放送の二重音声について

二重音声には2種類あります。

● ニカ国語放送

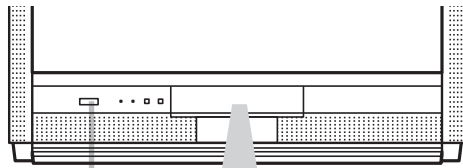
主音声（日本語）と副音声（外国語）を選んで聞ける情報（主音声で外国語、副音声で日本語が送信されている場合もあります。）

● 音声多重放送

主音声とは別の音声（副音声）を選んで聞ける情報

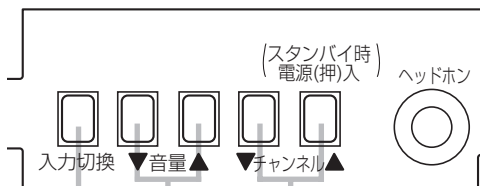
本体で操作
したいとき

お手近にリモコンがないときは、本体での操作も
できます。



1

とびら内



2

4

3

1 電源を入れる

スタンバイ/受像ランプが赤く点灯している場合は、チャンネル▲ボタンを押すと電源が入り、スタンバイ/受像ランプが緑に点灯します。電源を切るときは、もう一度主電源ボタンを押します。

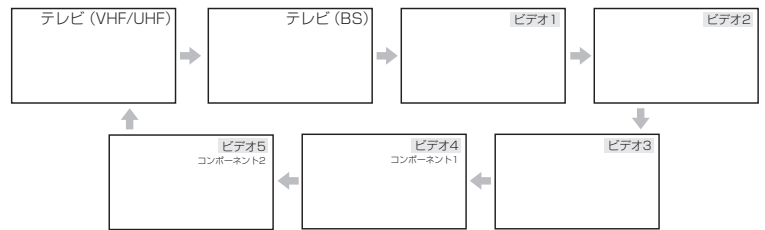
スタンバイ/受像ランプが緑に点灯しているときに主電源ボタンを切にした場合、次に主電源ボタンを入にすると、電源が入りスタンバイ/受像ランプが緑に点灯します。

2 入力切替ボタンで「テレビ」を選ぶ

入力切替ボタンを押すごとに、図のように切り換わります。



(お買い上げ時)



3 チャンネルを選ぶ

ボタンを押すごとに、チャンネルを順逆送りで選局することができます。



BSデジタル放送は選んだ番組によって、以降の操作が異なります。

- 有料番組を選んだとき **72**
- 視聴制限の対象になる番組を選んだとき **86**

4 音量を調節する

音量の大きさが数字と で画面に表示されます。



メモ

入力スキップ設定について

ご使用にならない入力端子がある場合、入力切替ボタンを押したとき飛越し（スキップ）させることができます。 **54**

チャンネルアップダウン選局について

空きチャンネルの飛び越し選局の設定をすると、空きチャンネルを飛び越して放送されているチャンネルを早く選局することができます。

- テレビ放送のとき **122**
- BSデジタル放送のとき **130**

映像の自動調整 モードを 選びたいとき

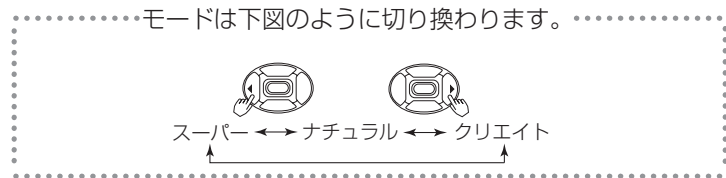
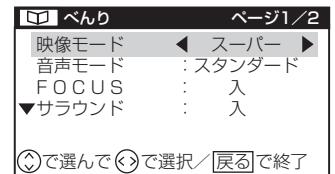
設置場所や映像ソフトに合わせて「スーパー」、
「ナチュラル」、「クリエイト」の3つからお好みの
映像を選ぶことができます。

映像モードの選びかた

1 べんりボタンを押す



2 映像モードを選び、お好みのモードに設定する



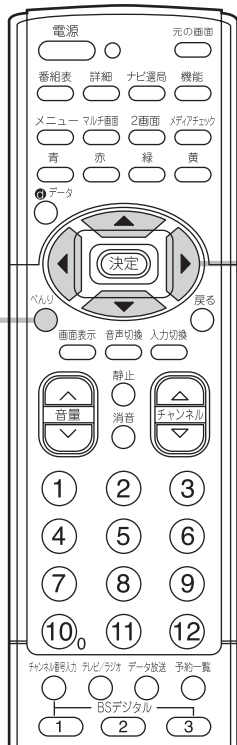
3 設定が終了したらべんりボタンを2回を押す



元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。

1
3

2



メモ

- 映像モードは、メニューの「映像設定」画面で選ぶこともできます。37

各機能について

スーパー

- 鮮明でコントラストのある画像に調整します。
- 明るい部屋で、メリハリのある画像を楽しむときに適したモードです。

ナチュラル

- 周囲の明るさに合わせ、画面の明るさを自動的にコントロールします。(周囲の明るさは、ディマーアイ受光窓 15 で検出します。ディマーアイ受光窓をふさいでしまうと適度にコントロールできなくなります。)
- 通常のテレビ番組、ビデオカメラの再生などを楽しむときに適したモードです。(省エネルギーにも対応したモードです。)

クリエイト

- 黒補正、VM、LTI、CTIなど、お好みに合わせてより細かな設定ができます。38
- お買い上げ時は、映画館のスクリーンを見るような感覚で映画を楽しむときや、電球色などの落ちついた照明を採用したリビングなどでの長時間視聴に適した設定となっています。

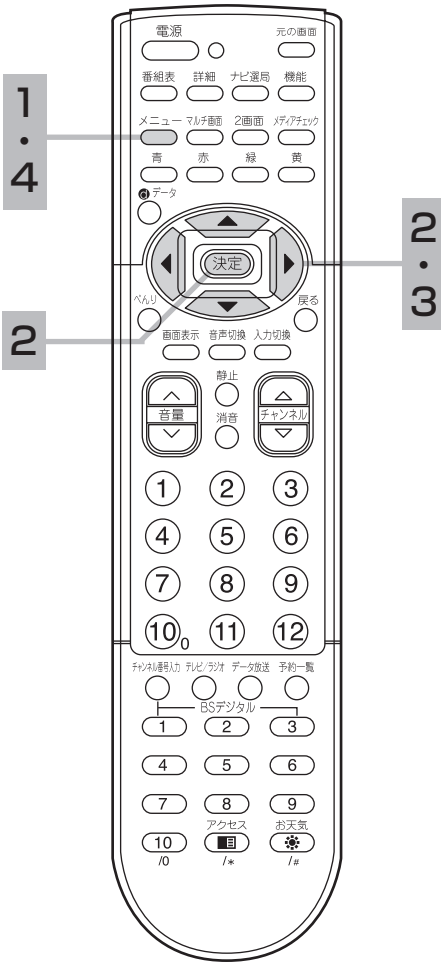
メモ 映像モードについて

- 各映像モードについて、明るさ(ナチュラルを除く)、黒レベル、色の濃さ、色あい、画質、色温度は、お好みの画像に設定できます。37
- ご家庭でご覧になる場合は、映像を自然な明るさに自動調整する「ナチュラル」をお勧めします。

映像設定を したいとき

映像モードごとにお好みに合わせて明るさ、黒レベル、色の濃さ、色あい、画質、色温度の設定ができます。

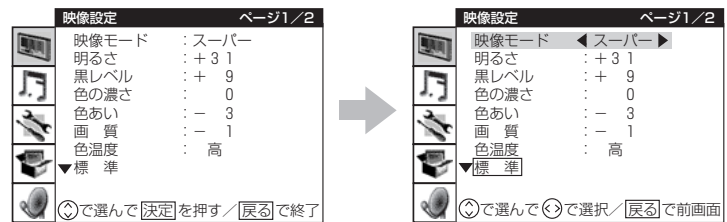
明るさ、黒レベルなどの設定



1 メニューボタンを押す
メニュー画面が現れます。



2 で「映像設定」を選び、決定ボタンを押す



3 で設定したい項目を選び、 で調節する
(例) 明るさを調節する場合

で調節します。戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。



映像設定項目			設定のポイント
映像モード	スーパー ↔ ナチュラル ↔ クリエイト		設置場所や映像ソースに合わせて設定します。
明るさ	暗くなる	明るくなる	周囲の明るさに合わせて、見やすく (表示が「明るさー」になって設定できない場合は「お知らせ」を参照ください。)
黒レベル	暗い部分がより暗くなる	暗い部分が明るめになる	黒髪の濃さに合わせて、見やすく
色の濃さ	色が淡くなる	色が濃くなる	お好みの濃さに(やややす目の方が自然です。)
色あい	赤っぽくなる	緑っぽくなる	肌色がきれいに見えるように
画質	やわらかな画質になる	くっきりとした画質になる	ふだんは中央で柔らかい感じにしたいときには一側へ
色温度	オート ↔ 低 ↔ 中 ↔ 高		「オート」は入力モードに応じて色温度が切り換ります。室内照明などによる影響から色調を補正するときは「高」「中」「低」のいずれかに設定します。
標準	——	——	決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

お知らせ

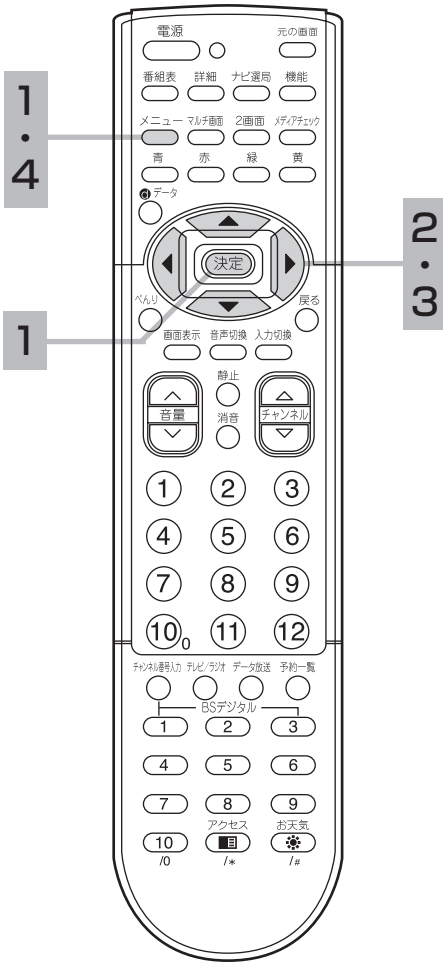
映像モードで「ナチュラル」を選んでいるときは、周囲の明るさに合わせ、画面の明るさを自動的にコントロールするため、明るさの設定はできません。

4 設定が終了したらメニューボタンを押す

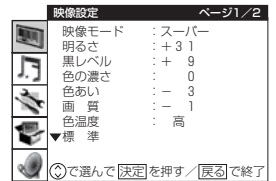
- 元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。
- 設定後は、チャンネル切り換えや電源を切っても記憶されます。

さらにお好みの映像設定をしたいとき

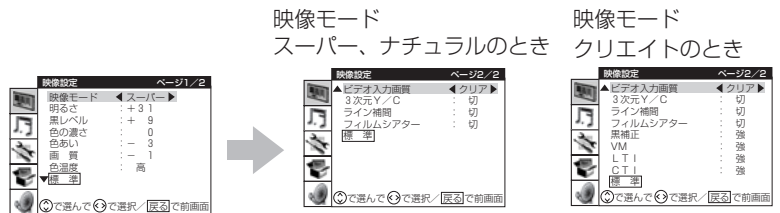
ビデオ入力画質、3次元Y/C、ライン補間、フィルムシアターの設定ができます。
また、映像モードで「クリエイト」を選んでいるときは、お好みに合わせて黒補正、VM、LTI、CTIの設定ができます。



1 メニューボタンを押し、
映像設定を選び、決定ボタンを押す



2 映像設定の2ページ目の「映像設定」を表示させる



3 映像設定の項目を選び、選択する
(例) ビデオ入力画質を設定する場合
決定ボタンで設定します。戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。



映像設定項目	設定方法	設定のポイント
ビデオ入力画質	クリア ↔ 標準	ビデオなどの映像がギラツイているなど不自然に見える場合は「クリア」にします。通常は「標準」でご使用ください。
3次元Y/C	切 ↔ 入	ビデオなどの映像が自然に見えないときは、「切」にします。通常は「入」でご使用ください。
ライン補間	切 ↔ 入	「入」: 立体ビデオディスクをご使用の場合に設定します。一度電源を切ると「切」になります。 「切」: 通常
フィルムシアター	切 ↔ 入	「入」: 映画フィルム素材を自動的に検知して元のフィルム映像に忠実に再現します。通常は「入」でご使用ください。 「切」: ビデオなどの映像が自然に見えないときは「切」にします。
黒補正	切 ↔ 弱 ↔ 中 ↔ 強	黒レベル補正を調節できます。
VM	切 ↔ 弱 ↔ 中 ↔ 強	輪郭の強調を調節できます。
LTI	切 ↔ 弱 ↔ 中 ↔ 強	輝度信号の鮮鋭度を調節できます。
CTI	切 ↔ 弱 ↔ 中 ↔ 強	色信号の鮮鋭度を調節できます。
標準	—	決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

4 設定が終了したらメニューボタンを押す
元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。

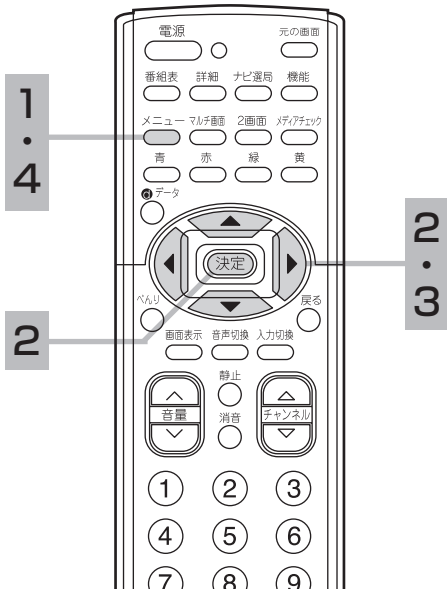
メモ

ビデオ入力画質について

- ビデオ1～ビデオ5の各入力モードごとに設定できます。
- テレビ放送やBSデジタル放送をご覧になっているときは設定できません。

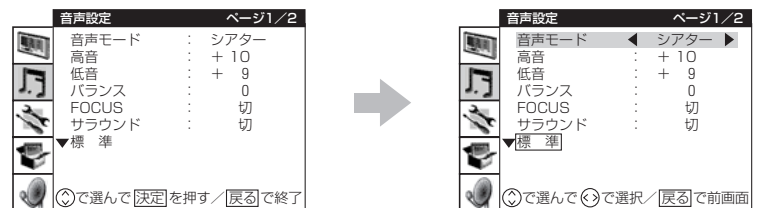
音声設定を したいとき

FOCUSは、スピーカーの位置によらずに画像と音の位置を一致させる（音像の縦方向の移動）ことにより、より自然でリアルな音を楽しめるようにした技術です。
また、音声モード、高音、低音、バランス、サラウンドなどの設定ができます。





1 メニューボタンを押す

2 で「音声設定」を選び、決定ボタンを押す



3 で設定したい項目を選び、で選択、または調節する

 音声設定項目		設定のポイント
音声モード	スタンダード ↔ ミュージック ↔ シアター	映像ソースに合わせて設定します。
高音	高音がおさえられる ↔ 高音が強調される	高音、低音、バランスはそれぞれ-10～+10までの設定ができます。
低音	低音がおさえられる ↔ 低音が強調される	お好みに合わせて設定してください。
バランス	左スピーカーの ← → 右スピーカーの 音が強調される(-) 音が強調される(+)	一度設定すると、そのまま記憶されます。
FOCUS	切 ↔ 入	お買い上げ時は「入」に設定されています。FOCUS機能を使わないときは「切」にします。
サラウンド	切 ↔ 入	「入」にすると、臨場感のあるステレオサウンドを再生することができます。
標準	——	決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

4 設定が終了したらメニューボタンを押す

元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。

メモ

音声設定の効果について

●FOCUS：入

音像を上部に移動することにより、より自然でリアルな音を再生することができます。また、音の輪郭をはっきりさせることで、ニュースなどの話し声が更に聞き取りやすくなります。

●サラウンド：入

臨場感のあるステレオサウンドを楽しむことができます。

モノラル放送や、ステレオ放送であっても「モノラル」の設定にしているとき（34）は、サラウンドの効果はありません。ステレオ放送で雑音が多いとき、サラウンドを「入」にすると雑音が強調されて聞こえる場合があります。このようなときには音声設定で高音を一側にするか、またはサラウンドを「切」にしてください。

音声モードのお買い上げ時の設定について

●ミュージックは高音、低音を強調しており、音楽放送に適しています。

●シアターは中音を強調した設定になっており、映画放送に適しています。

音声モードについて

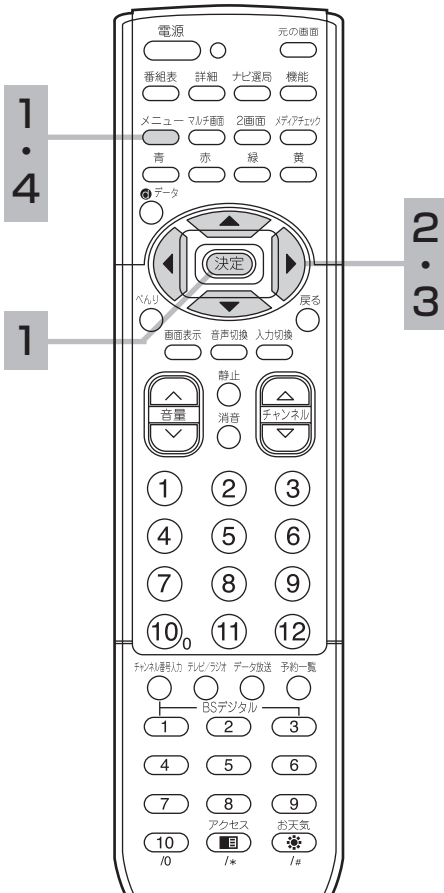
各音声モードについて、高音、低音、バランス、FOCUS、サラウンドはお好みの音声に設定できます。


お知らせ


●音声モードとFOCUSとサラウンドは、べんり機能で設定することもできます。41


さらにお好みの
音声設定を
したいとき

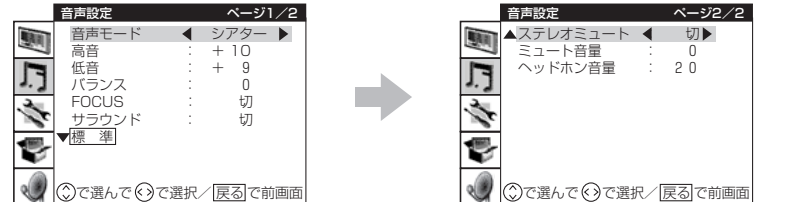
ステレオミュート（コマーシャル音などを小さくする）、ミュート音量（消音時の音量調節）、ヘッドホン音量などの設定ができます。





1 メニューボタンを押し、
 で「音声設定」を選び、
 決定ボタンを押す



2  で2ページ目の「音声設定」を表示させる



3  で設定したい項目を選び、
 で選択、または調節する

 音声設定 項目		設定のポイント
ステレオミュート	切↔入	「入」にすると、テレビ放送のコマーシャル音（ステレオ放送）などを小さくすることができます。
ミュート音量	音量が小さくなる↔音量が大きくなる 最小 [0] 最大はミュート前の音量	消音ボタンを押したときの音量が変わります。 30
ヘッドホン音量	音量が小さくなる↔音量が大きくなる 最小 [0] 最大 [63]	お好みの音量に合わせます。

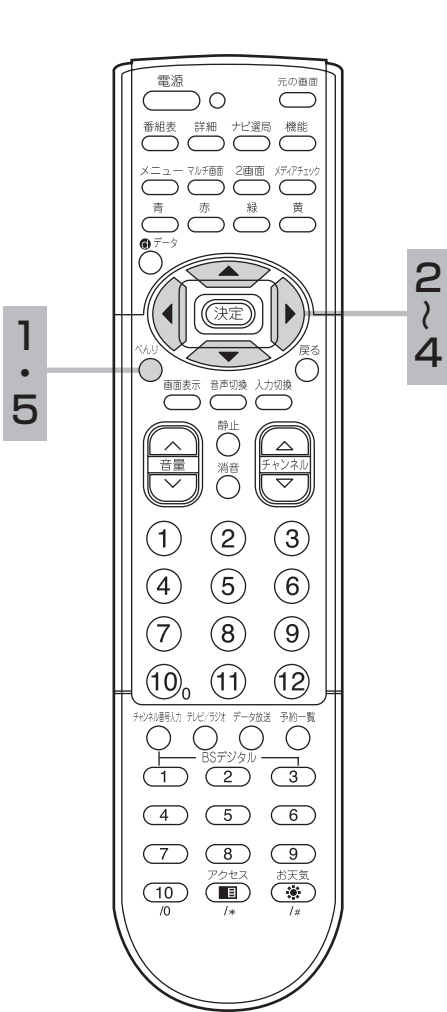
4 設定が終了したらメニューボタンを押す
 元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。

メモ

音声設定の効果について

- ステレオミュート：入
 テレビ放送のドラマや映画番組の途中で入るコマーシャル（ステレオの場合）音を小さくすることができます。ただしステレオ放送の番組の場合、番組の音も小さくなります。BSデジタル放送をご覧のときは、ステレオミュートは働きません。
- ミュート音量
 消音ボタンを押したときに、完全に音を消さずに、小さな音を出しておくことができます。
- ヘッドホン音量
 ヘッドホンの音量を調節できます。ヘッドホン差し込んででもスピーカーの音は消えません。スピーカーからの音を小さくしたいときは、音量ボタンで調節してください。

音声モードとFOCUS、サラウンドはべんり機能でも設定することができます。



1 べんりボタンを押す



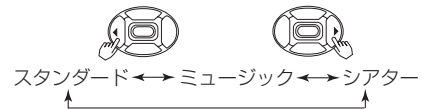
2 方向キーで「音声モード」を選び、方向キーでお好みのモードに設定する



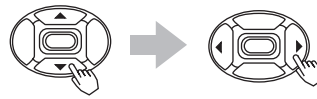
べんり		ページ1/2
映像モード	: スーパー	
音声モード	: スタンダード	
FOCUS	: 切	
▼サラウンド	: 切	

◀で選んで ▶で選択 / 戻るで終了

モードは右図のように切り換わります。



3 方向キーで「FOCUS」を選び、方向キーでお好みの設定にする



べんり		ページ1/2
映像モード	: スーパー	
音声モード	: スタンダード	
FOCUS	: 入	
▼サラウンド	: 切	

◀で選んで ▶で選択 / 戻るで終了

モードは右図のように切り換わります。



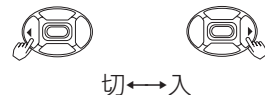
4 方向キーで「サラウンド」を選び、方向キーでお好みの設定にする



べんり		ページ1/2
映像モード	: スーパー	
音声モード	: スタンダード	
FOCUS	: 入	
▼サラウンド	: 入	

◀で選んで ▶で選択 / 戻るで終了

モードは右図のように切り換わります。



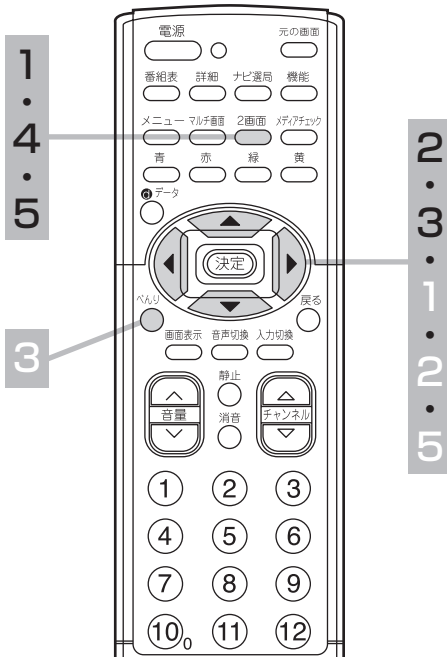
5 設定が終了したらべんりボタンを2回を押す



元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。

マルチ画面を 楽しみたいとき

気になる裏番組のチェックや何かおもしろい番組はないかといったときに、簡単な操作で番組の検索をすることができます。

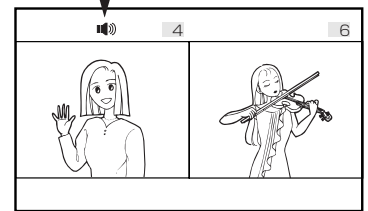


2画面を楽しみたいとき

同時に2つの番組をお楽しみになりたいときなどに便利な機能です。

1 2画面ボタンを押す

音声を選んでいる画面を示します。

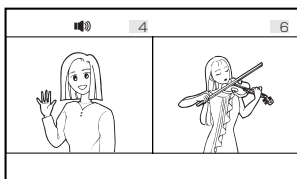


- 右画面と左画面は、同じチャンネル、または同じビデオモードは選べません。
- BSチャンネルとi.LINK端子に接続したD-VHS画面は、同時に2画面で見ることができません。

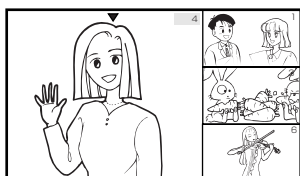
マルチ画面モード について

マルチ画面モードには2画面モードと4画面モードの2種類があります。

2画面モード：同時に2つの番組をお楽しみになりたいときなどに便利なモードです。42



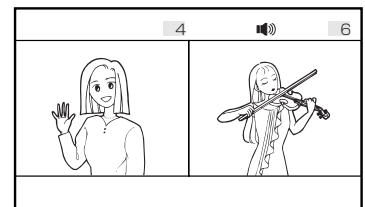
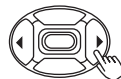
4画面モード：裏番組のチェックに便利なモードです。44
よくご覧になる番組をあらかじめ設定しておきます。



2 画面切り換え

で左画面と右画面を切り換える

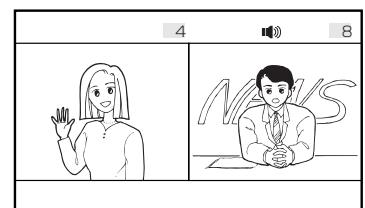
表示が選ばれた画面を示します。



3 チャンネル切り換え

でチャンネルを切り換える

が表示している画面のチャンネルが切り換えられます。



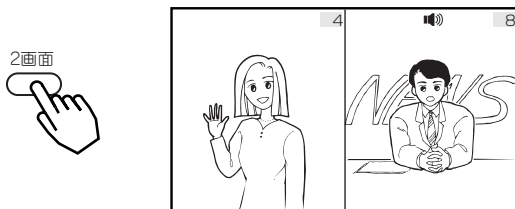
- 左画面を選んでいる場合も同様に、チャンネルを切り換えることができます。
- チャンネルボタンでも選べます。
- ビデオ1～ビデオ5に切り換えるときは、入力切替ボタンで切り換えてください。

4

2画面の拡大

2画面ボタンを押す

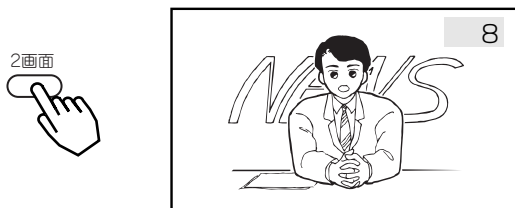
画面が大きくなります。



- 2、3と同様に画面切り換え、チャンネル切り換えができます。

5

もう一度2画面ボタンを押すと🔊表示の画面が1画面となって2画面を終了します



- リモコンの戻るボタンを押して、2画面モードを終了することもできます。

2画面時にBSデータ放送の画面を操作するには

1

📺でBSデータ放送の画面を選択する



2

べんりボタンを押し、📺で「データ放送」を選択する



モードは右図のように切り換わります。



←2/マルチ画面 ↔ データ放送→

3

設定が終了したらべんりボタンを押す

戻るボタンを押しても設定画面が消えます。

4

BSデータ放送をみる

BSデータ放送の画面操作のしかたは 88 をご覧ください。

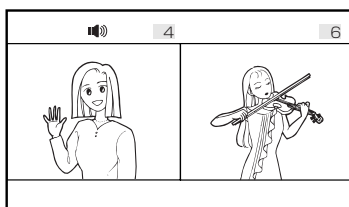
5

2画面の操作に戻すときは、2で「2/マルチ画面」を選択します。

メモ

2画面について

2画面のときの音声出力、モニター出力は、下記のようになっています。



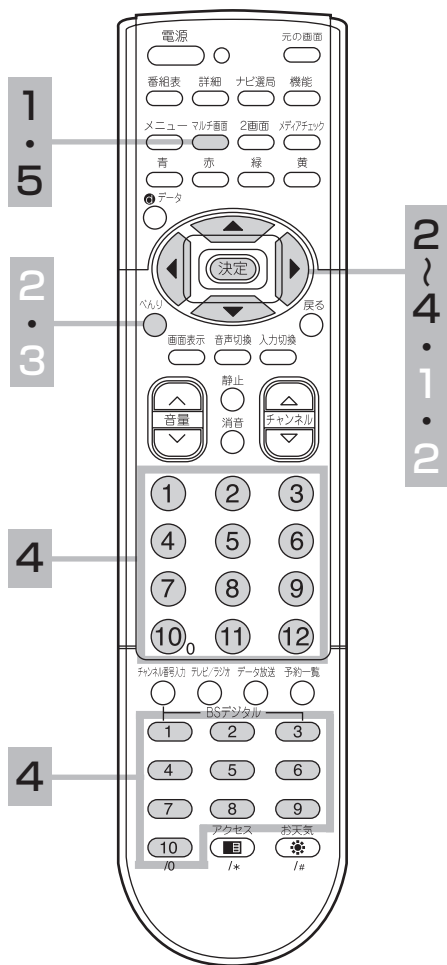
	選んでいる画面	
	左画面	右画面
スピーカー	左画面の音声	右画面の音声
ヘッドホン	右画面の音声	右画面の音声
モニター出力	左画面の映像、音声	右画面の映像、音声

2画面時のモニター出力について

- モニター出力端子からは、マルチ画面の映像は出力されません。
モニター出力端子からは選んでいる画面の映像と音声が出力されます。
BSSch固定「入」のとき（録画予約を実行しているとき）は、BSデジタル放送の映像と音声が出力されます。
- ビデオ4、5入力端子に入力されたコンポーネント映像と音声はモニター出力端子からは出力されません。
- ビデオ1入力の映像および音声をモニター出力するときは、メニューの「初期設定」「外部機器接続設定」の「モニター出力（ビデオ1）」を「する」に設定してください。

51

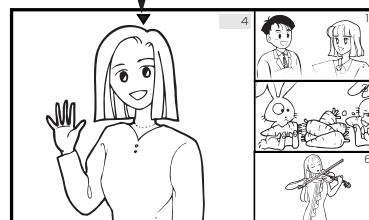
マルチ画面を 楽しみたいとき (つづき)



4画面を楽しみたいとき

1 マルチ画面ボタンを押す

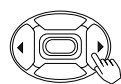
選んでいる画面を示します。



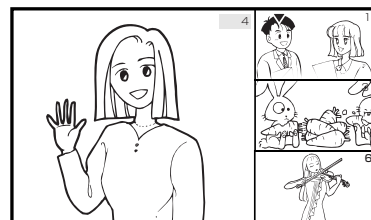
2 画面切り換え

で操作画面を切り換える

▼表示が選んでいる画面を示します。



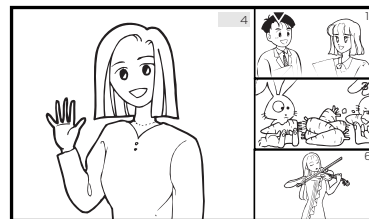
選んでいる画面を示します。



3 チャンネル切り換え

で子画面を選ぶ

選んでいる子画面の表示色が緑色になります。



お知らせ

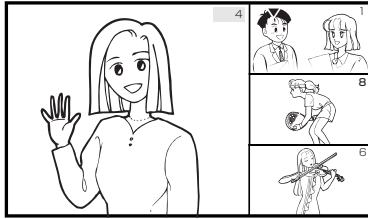
4画面時の画面切り換えについて



●子画面は、BSおよびビデオ4、5入力を
選択することはできません。

4画面時の音声についてのご注意

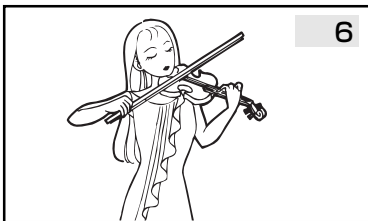
4画面時は、スピーカー、ヘッドホン共に
親画面の音声が出力されます。子画面の音
声は出力されません。

4 チャンネルボタンで選局する



- 入力切換ボタンでビデオモードを選ぶこともできます。
- ①子画面を選択したときは、でお好みの子画面を選ぶと、選んだ画面（表示色が緑色）が動画で表示されます。
他の子画面は、静止画で表示されます。
何も操作しないときは、自動的に番組内容を更新します。
- ②決定ボタンを押すと、選んでいた子画面を選択して4画面を終了します。
- 操作画面が子画面のときは、BSデジタル放送やビデオ4、5を選ぶことはできません。
- 操作画面が親画面のときは、、チャンネルボタンまたは入力切換ボタンで切り換えることができます。また、BSデジタル放送や入力切換ボタンで、ビデオ4、5に入力したコンポーネント映像を選択することもできます。

5 もう一度マルチ画面ボタンを押すと終了する



リモコンの戻るボタンを押して、4画面を終了することもできます。

マルチ画面時にBSデータ放送の画面を操作するには

1 でBSデータ放送の画面を選択する



2 べんりボタンを押し、 で「データ放送」を選択する



モードは右図のように切り換わります。



←2/マルチ画面 ↔ データ放送→

3 設定が終了したらべんりボタンを押す 戻るボタンを押しても設定画面が消えます。

4 BSデジタル放送をみる BSデータ放送の画面操作のしかたは **88** をご覧ください。

5 マルチ画面の操作に戻すときは **2** で「2/マルチ画面」を選択します。

×モ 4画面のモニター出力について

- モニター出力端子からは、マルチ画面の映像は出力されません。モニター出力端子からは親画面の映像と音声が出力されます。BSch固定「入」のとき（録画予約を実行しているとき）は、BSデジタル放送の映像と音声が出力されます。
- ビデオ4～ビデオ5入力端子に入力されたコンポーネント映像と音声はモニター出力端子からは出力されません。
- ビデオ1入力の映像および音声をモニター出力するときは、メニューの「初期設定」「外部機器接続設定」の「モニター出力（ビデオ1）」を「する」に設定してください。**51**

チャンネル合わせでチャンネル設定を変更したときは

引越などにより、チャンネル合わせ（地域番号）で地域番号を変更したり、受信設定でCHボタンの設定を10キー（CATV）に変更したときは、マルチ画面のチャンネルが自動的に更新されます。必要に応じて、もう一度設定してください。

メディアチェック で選びたいとき

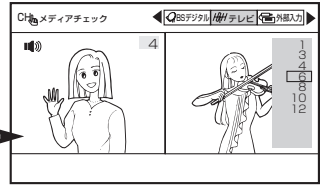
テレビ（地上波）放送、BSデジタル放送、外部入力映像をメディアの違いを気にすることなく、気軽に画面で選ぶことができます。



1 メディアチェックボタンを押す

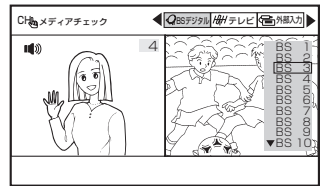
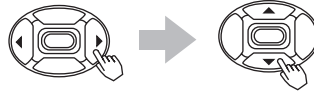


最後にご覧になっていた画面



- 右画面と左画面は、同じチャンネルまたは同じビデオモードは選べません。
- BSチャンネルおよびi.LINK接続によるD-VHS入力は、同時に2画面で見ることができません。

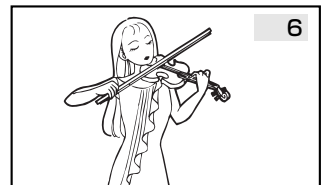
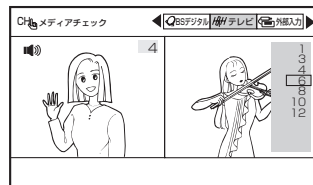
2 でメディア（テレビ放送、BSデジタル放送、外部入力）を選択し、でチャンネルまたは外部入力を選ぶ



- メディアはテレビが最初に選択されます。
- メディアを切り換えたときは、最上段のチャンネルまたは入力モードが選択されます。
- 「▼」の表示があるときは、を押しと次のページが表示されます。
- 「▲」の表示があるときは、を押しと前のページが表示されます。
- 左画面はチャンネルまたは入力切替ボタンで選ぶことができます。

3 決定ボタンを押す

右画面で選んでいたチャンネルまたは入力モードが選択され、メディアアチェック画面を終了します。



もう一度、メディアチェックボタンを押すか、または元の画面ボタンを押しても終了することができます。この場合は左画面で選んでいたチャンネルまたは入力モードのまま、メディアチェック画面を終了します。

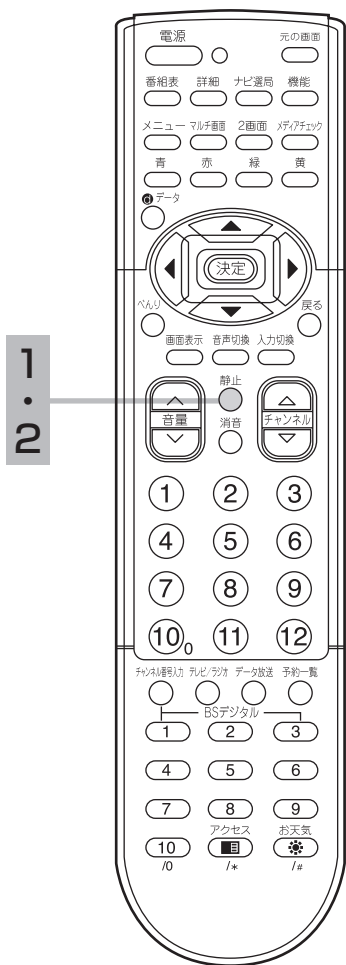
メモ

- メディア「テレビ」は、空きチャンネルを表示しないようにできます。(CHスキップ設定で「スキップする」に設定した場合 122)
- CHスキップ設定 122 ですべてのチャンネルが「スキップする」設定のときは、メディアチェック画面は操作できません。
- メディア「BSデジタル」は、リモコンのBSチャンネルボタン (BS1~BS12) の番号を表示したものです (チャンネル番号ではありません)。BS11は「アクセス」、BS12は「お天気」のボタンを示します。
- メディア「外部入力」は、使用しない入力を表示しないようにできます。(入力スキップ設定で「スキップする」に設定した場合 54)

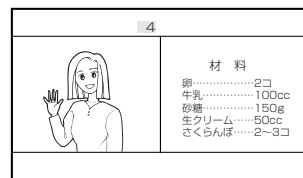
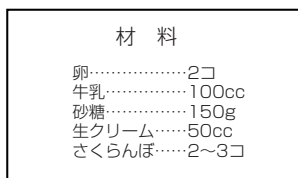
- 入力スキップ設定 54 で、すべての入力が「スキップする」に設定されている場合は、メディア「外部入力」は選択できません。
- 左画面でBSチャンネルまたはi.LINK接続によるD-VHS入力をご覧になっているときは、右画面でメディア「BSデジタル」は選択できません。
- BSch固定「入」のとき (録画予約が実行中のとき) は、メディア「BSデジタル」は選択できません。
- メディア「外部入力」は、i.LINK接続によるD-VHS入力は表示できません。

静止画に したいとき

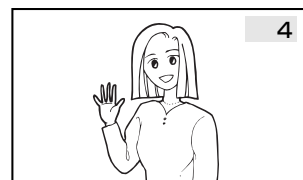
テレビ画面を一時的に止めて見たいときに便利な機能です。



1 静止ボタンを押す




2 もう一度静止ボタンを押すと終了する



多機能の
使いかた

お知らせ

- 2画面、4画面を表示中は、静止ボタンで静止画にすることはできません。
- 静止画面で2画面またはマルチ画面ボタンを押すと、静止画は解除されます。
- テレビ放送とBSデジタル放送の静止画を表示しているときは、 やチャンネルボタンで左側の画面（動画）のチャンネルを選ぶことができます。ビデオ入力信号の静止画を表示しているときは、左側の画面（動画）を切り換えることはできません。
- コンポーネント入力信号の静止画は、次のような場合は解除されます。
 - ・ 入力信号が切り変わったとき
(例えば525iから1125iに切り変わったときなど)
 - ・ コンポーネント入力端子に接続した機器の電源を切ったときなど

自動的に電源を 切りたいとき

指定した時間が経つと、自動的に電源を切ることができます。
お休みのときなどにご利用ください。



1 ベ入りボタンを2回押す



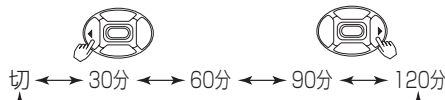
2 で「オフタイマー」を選び、でお好みの時間を設定する



ベ入り		ページ2/2
▲ワイド切換	:	映画1字幕
画面位置	:	0
GRT	:	入1
オフタイマー	◀▶	切
低電力	:	切

◀で選んで ▶で選択 / 戻るで前画面

モードは右図のように切り換わります。



- オフタイマーの設定時間は30分間隔で最大120分までです。
- 時間を設定したときからタイマー動作が始まります。

3 設定が終了したらベ入りボタンを押す



元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

オフタイマーを確認・解除したいとき

- ① **1** の操作を行います。
オフタイマーの残量時間が1分間隔で確認できます。
- ② オフタイマーを解除するときは、**2** の操作で「切」に設定します。
- ③ **3** の操作で画面表示を消します。

4 電源が切れる

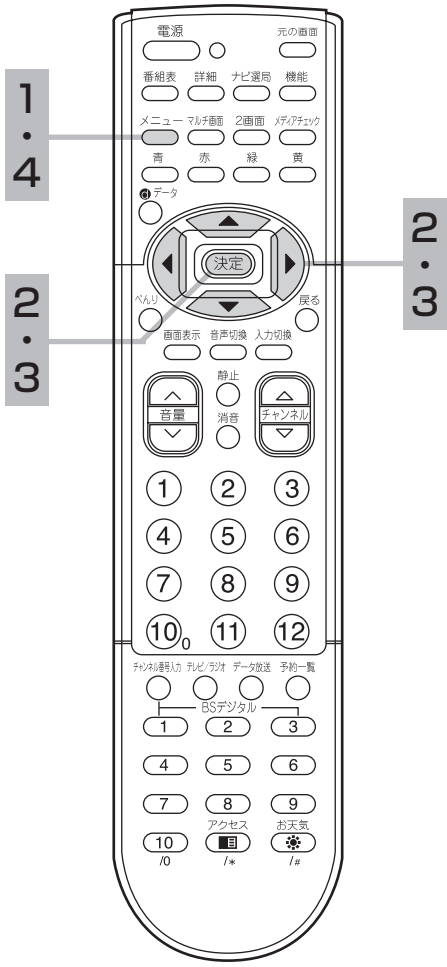
設定した時間になると電源が切れます。

お知らせ

- 電源を切るとオフタイマーは解除されます。
- オフタイマーは多少の誤差が生じることがあります。
- オフタイマー動作中に停電になりますと、停電が復帰しても、安全のためテレビはオフになります。

他の設定を変えたいとき

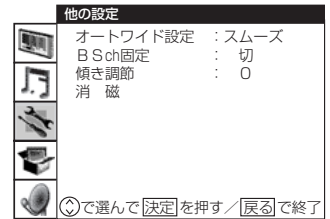
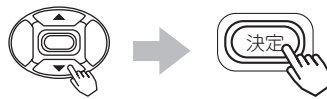
オートワイド設定をお好みに合わせて設定することができます。また、必要に応じて傾きを調節したり、消磁機能を働かすことができます。



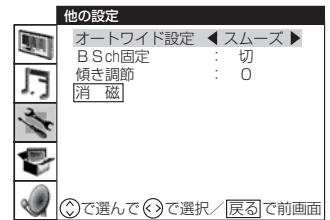
1 メニューボタンを押す



2 ②で「他の設定」を選び、決定ボタンを押す



3 ④で設定したい項目を選び、③で選択、または調節する



設定項目	設定方法	設定のポイント
オートワイド設定	スムーズ↔ノーマル	オートワイド時に、通常の映像(4:3信号)を見るときにワイドモードを設定します。通常はスムーズでご使用ください。
傾き調節	左へ回転↔右へ回転	映像の傾きを調節します。
消磁	「消磁」を選び、決定ボタンを押す	画面の向きを変えたり、移動したときに発生した色ムラなどを除去します。

メモ

消磁について

画面の向きを変えたえたり、移動したときに発生した色ムラなどを除去します。

- 電源オン時には自動消磁されますが、必要に応じて手動消磁を行なってください。
- 電源オン直後の手動消磁は、色ムラなどを除去できない場合があります。このときは、約1時間後に再度手動消磁を行なってください。

4 設定が終了したらメニューボタンを押す



元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

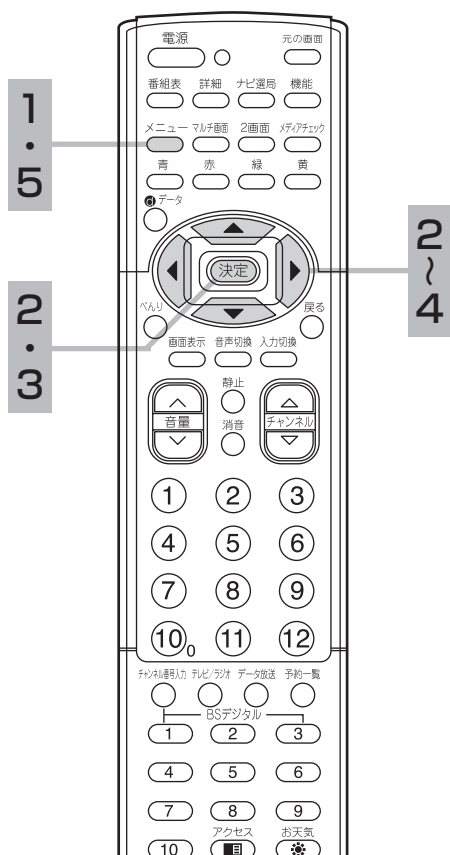
多機能の使いかた

外部機器を 接続するときに 便利な設定


ご使用になる外部機器や接続方法に合わせて設定
することができます。


- モニター出力 (ビデオ1) **51**ビデオ1入力端子に接続した映像および音声をモニター出力端子から出力したいときに設定します。
- 入力検出 (ビデオ2) **51**ビデオ2入力端子に接続した機器の映像信号を検出すると、自動的にテレビの電源をオンしてビデオ2を選択することができます。
- ゲームモード (ビデオ3) **51**テレビ前面のビデオ3入力端子に接続したテレビゲームを楽しむときに映像設定と画面のワイドモードを自動的に選択することができます。
- ビデオ入力表示書換設定 **52**ビデオ入力端子に接続した機器に合わせて、表示を書き換えることができます。
- コンポーネント設定 **53**コンポーネント1 (ビデオ4) ~コンポーネント2 (ビデオ5) に接続する機器を設定します。
- 入力スキップ設定 **54**ご使用にならない入力端子がある場合、入力切換ボタンを押したときに飛び越し (スキップ) させることができます。

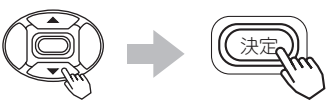
モニター出力、入力検出、ゲームモードの設定



1 メニューボタンを押す




2  で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

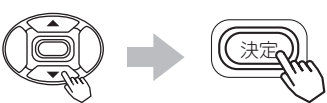


初期設定

- 受信設定
- 外部機器接続設定
- 入力スキップ設定

⌂で選んで [決定] を押す / [戻る] で終了

3  で「外部機器接続設定」を選び、決定ボタンを押す

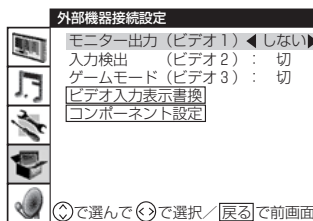


初期設定

- 受信設定
- 外部機器接続設定
- 入力スキップ設定

⌂で選んで [決定] を押す / [戻る] で前画面

4 ④で設定したい項目を選び、⑤で設定する



設定項目		設定のポイント
モニター出力 (ビデオ1)	する ↔ しない	ビデオ1の映像と音声をモニター出力端子から出力するときは「する」を選択します。
入力検出 (ビデオ2)	切 ↔ 入	ビデオ2の映像信号を検出したとき、テレビ電源をオンしてビデオ2を自動的に選択したいときに「入」にします。一度本体の主電源ボタンで電源を切ったときや、電源プラグを抜いた場合は、「切」になります。
ゲームモード (ビデオ3)	切 ↔ 入	ビデオ3を選択したときにワイドモードと映像設定を自動的に切り換えたいときは「入」にします。 148

お知らせ

モニター出力(ビデオ1)：(「する」の場合)
1台のビデオに本機の「BS/モニター出力」と「ビデオ1入力」を同時に接続すると、発振によるノイズが生じることがあります。このような接続の場合は、「しない」に設定してください。

5 設定が終了したらメニューボタンを押す



元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

お知らせ

入力検出 (ビデオ2)：(「入」の場合)

ビデオ2入力端子の映像信号を検出すると、テレビの電源が入り、ビデオ2に切り換わります。

ビデオ2入力端子の映像信号がなくなると、ビデオ2を選択しているときはテレビに戻ります。このとき電源は切れません。

●ビデオ2入力検出は、S2映像入力端子の信号は検出されません。

S2映像端子の信号をご覧になる場合は、映像端子にも信号を接続することにより、ビデオ2入力検出機能をお使いいただけます。

●留守録などで自動的に電源が入るような外部機器を接続されている場合は、テレビの電源が自動的にオンすることがあります。このような外部機器をご使用になるときは「切」でお使いください。

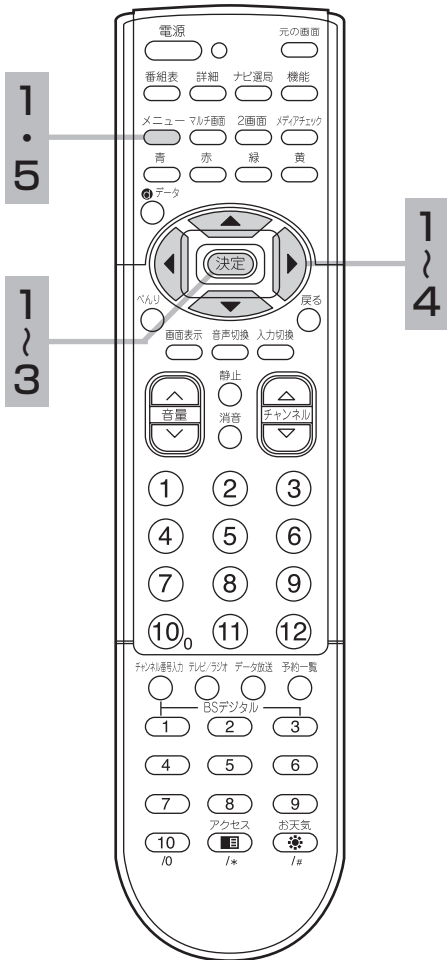
●CATVホームターミナルなどの外部機器の電源を「切」にしても、ビデオ2入力端子に何らかの信号が入力されている場合は正常に動作しないことがあります。このようなときは、「切」でお使いください。

●テレビ本体の主電源ボタンでテレビの電源を切ると、入力検出は動作しません。

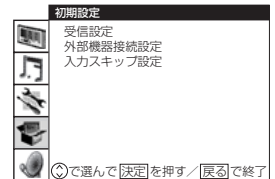
外部機器を
接続するときに
便利な設定
(つづき)

ビデオ入力表示書換の設定

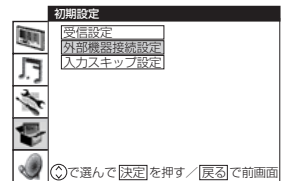
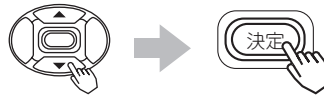
ビデオやゲーム機などの接続に合わせて、ビデオ入力の表示を書き換えることができます。



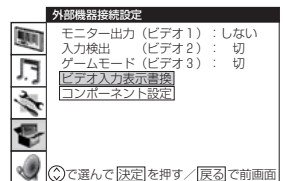
1 メニューボタンを押し、 で「初期設定」を選び、決定ボタンを押し



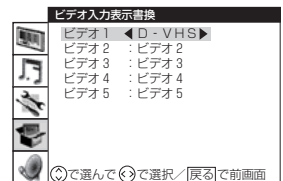
2 で「外部機器接続設定」を選び、決定ボタンを押し



3 で「ビデオ入力表示書換」を選び、決定ボタンを押し



4 で設定したいビデオ入力を選び、
 で設定する



を押すごとに下図のように切り換わります。
(例)「ビデオ1」の設定の場合
ビデオ1 ↔ VTR ↔ CATV ↔ ゲーム ↔ カメラ ↔ DVD ↔ D-VHS
↑ デジタル ↔ CSデジタル ↔ BSデジタル ↔ レコーダー

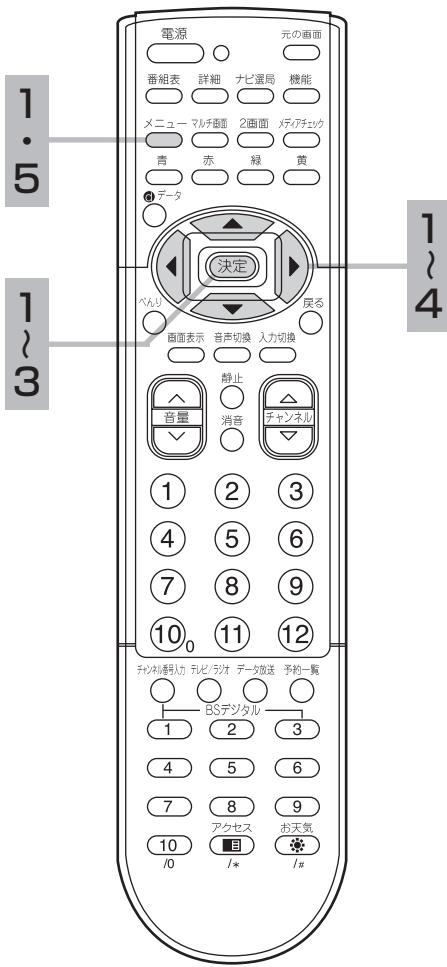
5 設定が終了したらメニューボタンを押し



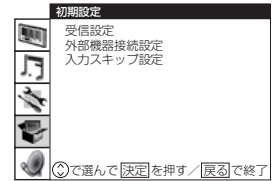
元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

コンポーネントの設定

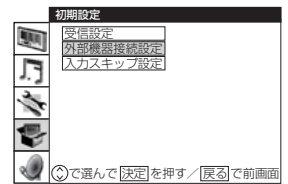
コンポーネント1（ビデオ4）、コンポーネント2（ビデオ5）に接続する機器を設定します。



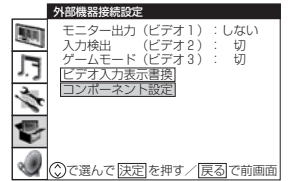
1 メニューボタンを押し、で「初期設定」を選び、決定ボタンを押し



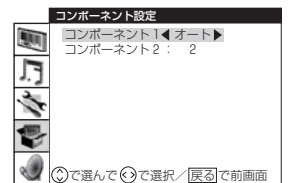
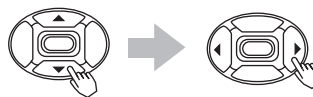
2 で「外部機器接続設定」を選び、決定ボタンを押し



3 で「コンポーネント設定」を選び、決定ボタンを押し



4 で設定したいコンポーネント入力を選び、で設定する



設定項目	設定目	設定のポイント
コンポーネント1 (ビデオ4)	オート→1→2→MUSE	コンポーネント1入力端子に接続する機器や信号により設定します。通常は「オート」でお使いください。
コンポーネント2 (ビデオ5)	オート→1→2→MUSE	コンポーネント2入力端子に接続する機器や信号により設定します。通常は「オート」でお使いください。

メモ

コンポーネント設定について

コンポーネント信号は、接続する機器や信号によって色あいが異なる場合があります。通常は「オート」でお使いください。色あいが正しく再現できない場合は、「1」または「2」に設定してください。また、W-VHSビデオを接続する場合は「MUSE」に設定してください。

5 設定が終了したらメニューボタンを押し



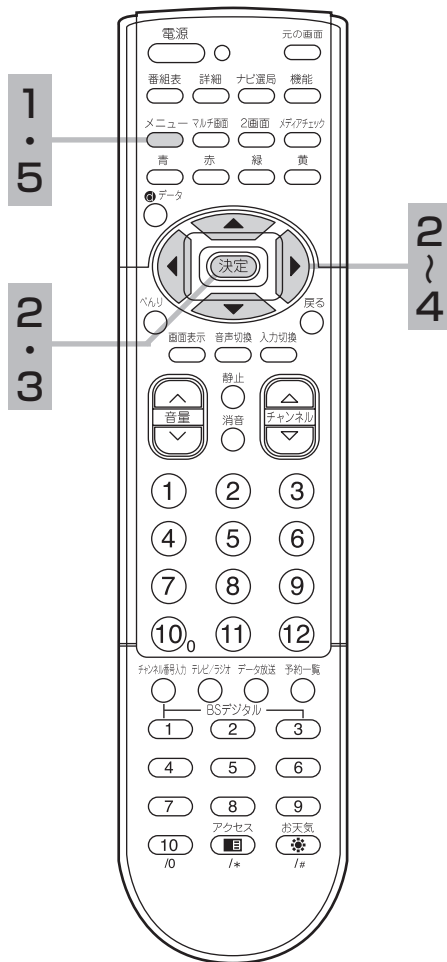
元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

多機能の使いかた

外部機器を
接続するときに
便利な設定
(つづき)

入カスキップの設定

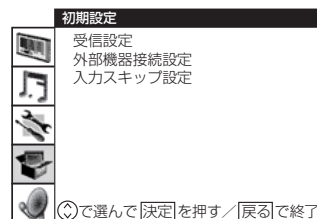
ご使用にならない入力端子がある場合、入力切換ボタンを押したときに飛び越し（スキップ）させることができます。



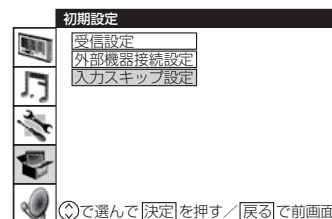
1 メニューボタンを押す



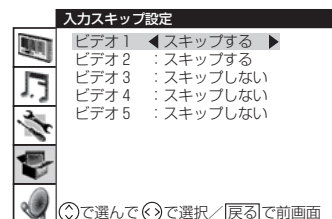
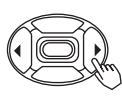
2 初期設定を選択し、決定ボタンを押す



3 入力スキップ設定を選択し、決定ボタンを押す



4 設定したいビデオ入力を選び、決定ボタンを押す



モードは右図のように切り換わります。



スキップしない ↔ スキップする

入力切換ボタンを押したとき、飛び越しさせたいときは「スキップする」を選びます。

5 設定が終了したらメニューボタンを押す



元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

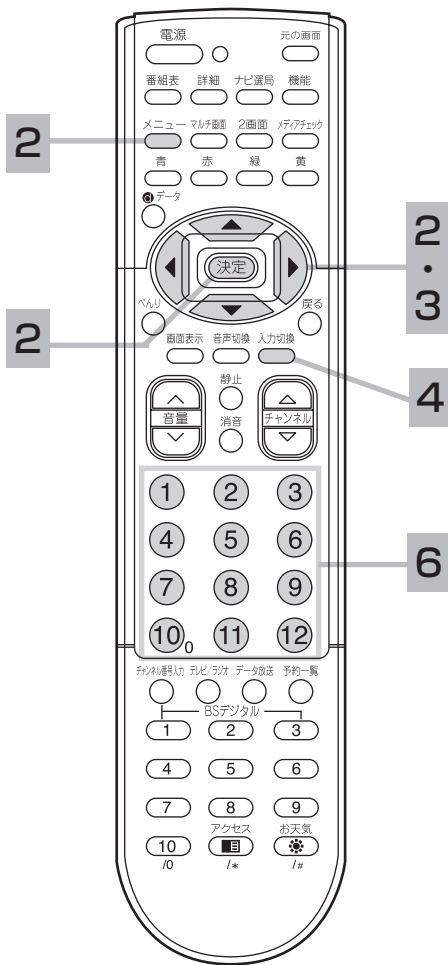
ビデオなどに 録画するとき

録画中に本機のチャンネルを変えても、ご希望のBSデジタル放送が確実に録画できるようにBSチャンネルを固定します。

BSデジタル放送を録画しながらテレビ放送を見たいとき

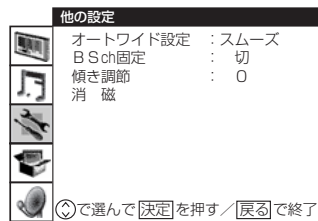
準備

お手持ちのビデオを本機と接続する。 103

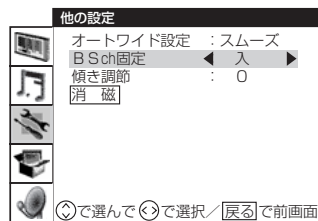


1 録画したいBSチャンネルを選ぶ 20

2 メニューボタンを押し、で「他の設定」を選び、決定ボタンを押し



3 で「BSch固定」を選び、で「入」にする



- BSch固定「入」を設定すると「BSchが固定されました」の表示が出ます。
- 表示窓が橙色（オレンジ）に変わり、「BSch固定表示（番組固定表示）」が点灯します。
- テレビ放送やビデオ入力でBSch固定を選ぶと「選択できません」の表示が出て設定できません。

4 入力切換ボタンを押し、「ビデオ1」にする



ビデオを「ビデオ2」に接続している場合は、「ビデオ2」にします。

5 ビデオを外部入力に合わせて、録画したいチャンネルが映ることを確認し、録画をはじめる

6 ご覧になりたいテレビ放送のチャンネルを選ぶ

BSch固定を解除したいときは、固定されているBSチャンネルを選び、手順 3 の操作で「切」を選びます。「BSch固定を解除しました」の表示が出ます。

お知らせ

- 録画予約を実行中は、BSch固定状態になります。
- BSch固定状態では、画面映像のワイドモードは「フル」に固定になります。また、BSのチャンネル番号は、画面に表示されませんが、チャンネル番号、音声モードは表示窓で確認することができます。

多機能の
使いかた